

山本幸三郎語録

1997年

曲を創る志としていつも二つの行き方を想います。その一つは現実の社会からの逃避と、今一つは現実の世の中での直視。どちらが良いかというところがなかなかむずかしいのです。前者の方は、現実の社会があまりにもやりにくく、又、大変よれているため、他の場所に静かな夢と真理を求めようとして遠くへ飛んで無垢なテーマを見つけ寂の中で夢見ようとする。今一つは、現代の世の中をいくらか混沌としていても生きがいのあるものとしてその苦しみの中に良悪のテーマをおく。この二つの考え方にいつもまよい続けてきました。

きのうの事のように、昭和53年3月に文化使節の一員としてベネズエラ、ボリビア、チリ、コロンビアへと南米公演に出かけ、正直なところ、アンデスの原野を夢見る想いで歩き廻り限りない美しさを見つけました。特にボリビアの首都ラパス、自然の風土でのケーナの音色、タンボリンの響き、そしてインディオの村々、インディオの人々の心の中に、どこか我々の郷里に似た懐しさを感じました。

「ペーニャ・ナイラ」ラパスの音楽酒場です。金土日と週3日間の営業、入場料はビールの中ピンが1本ついて300円ぐらい。この日のお客は20人程で、酒場の前の庭には7、80人の出演者が居て、ソロあり、トリオあり、踊り手をまじえた大ぜい組や、出るわ出るわ、皆いろいろな民族衣装を着飾って、そしてケーナ・シーク・チャランゴなどびっくりするほど大きな音で……というの、ここ

徒然音楽草 その2 山木幸三郎

は標高3800mのアンデス高原のため、我々のメンバーのほとんどが高山病にやられ酸素ボンベやココ茶や赤い錠剤や黄色い粉薬などのお世話になったが全部効きもせず後頭部のなにか酔った痛さ重さでブラステ隊なども必死で、4小節のフレーズが2小節ちょっとで息切れして“ふっ”と止まってしまい、ソロを終わって自分の席に戻る時はフラッとして、ほんとよ。さすがに土地のインディオ達は

大きな声で唄い、この酒場にはもちろんマイクなどの音響器材は一切なし、全部ナマ。ここでの民族楽器の素朴さとサウンドの神秘性には強く酔わされてしまいました。しかし、たくさんのグループ、多彩なリズムに出会い、聴けば聴くほどに、最初心の中で抱いていた僕の美意識とはなにかだんだん違ったことがわかり、詩情的な安らぎの奥には苦しみとか貧しさなど、たとえば雨、風、雪に詩情を求めようとした安らぎの奥に雪害や水害などの苦しみがあり、か細く生きてきた人間の当然通らなければならぬ道がここにもあり、それを知れば知るほどに現実からの逃避の形を取りたくない気がするのです。

音楽にはメジャーとマイナーの世界があるように、人間にも、又、人の生涯にもメジャーとマイナーの対比を時折り思うことがあります。それはネガティブな世界がどうしても原点である様な気がします。「ペーニャ・ナイラ」でインディオの演奏を聴き……彼等の生き方に、ふと、はなやかである中にマイナーの匂いを感じました。

昭和55年の12月末にバンドジャーナルという本のアマチュアジャズビックバンドのレポーターとして富山と金沢に行ってきました。偶然富山には小学校2年生から中学校2年生までの約6、7年間勉強し(ウソ)遊び廻っていたので大変なつかしく思いました。街の風情はだいぶかわってしまいましたが、市の中央を流れる神通川や立山連峰に落ちてゆく太陽などの大自然にふれるといろいろの思い出がよみがえってきました。ふと振り返ってみると、この頃の僕は戦争で家も焼けて(家業は銭湯をやっていました。)なにを考えていたのかあまり記憶がありません。昭和22年に東京へでてきていろいろアルバイトをやり、中でも江戸川区の平井三業地の中にあるお寿司屋に丁稚奉公に入った時その寿司屋のせがれが大の音楽好きでピアノやギターなどをいじり、気がついた時には米進駐軍のキャンプ廻りのバンドボーヤをやっていました。この当時はまだジャズとはほど遠くハワイアン音楽やウエスタン音楽の中で、それよりも我々のまわりではまだまだ食糧難なのに米軍のキャンプへいくと山

の様な御馳走、ビールにウィスキーなど身も心も奪われていました。先輩達は何も手ほどきなどしてくれず、かといって資料なるものは何もなく途方に暮れている頃、有楽町のコンボというジャズ喫茶などを知り、又ブイデスクという米軍兵用の慰安レコードなどを兵隊等から借りて仲間と勉強しあいました。又、アメリカのミュージシャンも兵役でたくさんきて随分と教えていただきました。形はま

徒然音楽草 その1 山木幸三郎

ねすればだんだん整うようになりますが、それに心の加え方がわかりモダンジャズの魅力のとりこになったのは、「鳥類学」という曲を書き自らバードのように飛び立ったチャーリー・ハーカーや、20代の若さで死んだ「ジョージ ジレンマ」のクリフォード・ブラウン、「朝日のようにさわやかに」のソニー・クラーク、そしてセロニアス・モンクの「ブルー モンク」、ジャズ・メッセンジャーの

「モーニン」、ジョン・ルイスの「ジャンゴ」、オーネット・コールマンやチャーリー・ミンガスなどの前衛派と、いろいろな黒人ジャズメンの影響が強い様です。そしてディジー・ガレスピーのビック・バンドを聴いて今までにない感銘を受け、それまではずっとコンボばかりやっていたのですが昭和28年にニュー・ハードに入りました。僕の青少年時代の場合、この様に始めから何をやるのか、まして音楽をやるなど夢にも思っておらず非常にたわいのないもので、もし寿司屋にアルバイトにいっていなかったらと思うと??昔住んだ富山へきて思うに、1950年から60年の安保闘争へむかった僕の10年は、アート・ブレイキーのドラムの様体中めちやくちやに熱くバラバラにされそうなど破壊的ではあるが、なんとも若い快感があったように思います。

当時のジャズ喫茶「きーよ」の落書きに……

*Jazz and freedom
go hand in hand.*

ジャズと自由は手をとりあつてゆく

バンド楽譜 今月の新刊

吹奏楽

- ◎ ¥1,800 ◎ ¥1,400
- YK187 ヨコハマチーク
- YK188 街角トワイライト
- YK189 スローなブギにしてくれ
- マーチングバンド ¥1,600
- MC47 ダンシング・デビル
- MC48 プリティ・ナイト

ダンスバンド

- Fu ¥1,800 EI ¥1,400 Co ¥1,100
- XX169 ヨコハマチーク
- XX170 街角トワイライト
- XX171 横浜銀蠅メドレー
- ツッパリHighSchool
- Rock'nRoll(登校編)
- 横須賀Baby



詳しいカタログを無料配布いたします。楽器店、又は直接当社に御請求下さい。

——ビックバンドのための——
オリジナルジャズ発刊! (4月中旬)
山木幸三郎 作品全10曲
OJ-1 Sonata No. 1 in C maj.
OJ-5 Hob'nob
OJ-6 Skip' Jack
(フルスコア付) 定価 4,000円

バンド楽譜 今月の新刊

吹奏楽

- ※ ¥1,900 ※ ¥1,400
- YK181 恋=D.O./
- YK182 チェリーブラッサム
- YK183 ペガサスの朝
- マーチングバンド ¥1,600
- MC45 ピアノコンチェルト第1番
- MC46 展覧会の絵-プロムナード

ダンスバンド

- Fu ¥1,800 EI ¥1,400 Co ¥1,100
- YK184 恋=D.O./
- YK185 チェリーブラッサム
- YK186 ブランデーグラス

バンド歌集 ¥3,500

- 歌謡曲第1集 **すべての**
- 雨の慕情
- 別れても好きな人
- 贈る言葉
- すきま風
- 哀愁でいと
- 水色のワルツ
- 他 全21曲
- 小編成バンドに
- 独唱(ソ・ロ)
- 合唱(トリオ)
- ピアノ伴奏
- バンド演奏
- 歌伴奏



また又、一升ビンをぶらさげた若い友がやってきてさっそく酒盛りとなり、だんだん盛り上がり、今夜のサカナは、なんとUFOから宇宙人となりました。よっぱらいの習性で何回も同じことのくりかえしから、又僕は南米の話をしてしまいました。南米といってもアンデス山脈にそってペネズエラ、ボリビア、チリー、コロンビア、そしてペルーの上空を飛んでロスへと。南米のどこの国へ行っても、三日前にどこどこにUFOが降りたとか、一月ぐらい前にどこどこにUFOが降りたとか、一月ぐらい前に宇宙人をみたとか、新聞をもってきたりして教えてくれました。南米公演に出発する前の日新宿で仕事がありその帰りに、映画「未知との遭遇」を見たばかりなので大変に興味をもちました。実際あそこまで行ってみると半分以上信じちゃいます。「そんなもんだな」と思うようになります。ボリビアでの公演の様子は前にも書きましたが、標高4千メートル近いので大変に息切れがしましたが、世界最高（最も高い場所）のジャズだと皆と笑ったんですが、当地の人たちもジャズオーケストラが「ラパス」で演奏したのは初めてたぶん最後になるのではと書いていました。ボリビアで一番質問を受けたのは、どうして「ウチ」の曲を知っているのかということ、新聞記者が不思議がっていました。（この日僕がアレンジしたボリビア民謡、アイ・アイアモールを演奏。）日本には〔中南米音楽〕という雑誌もあり、ボリビアのレコ

ードもあると言ったら、もしかしたら、おまえは宇宙人かと、びっくりしていました。うっかりしたら、日本がどこにあるか知らないかも！次の日、ラパス市の御好意で、テアワナコやチチカカ湖など案内していただき大変にビックリする事に出会いました。中型ぐらいのバスで出かけたのですがもちろん道路などありません。途中川にぶつかるとその川に沿って走り浅い所を見つけて渡るという具合で、おもわぬ所に村があったり種族というか住んでいる村の人たちによって帽子や服装の柄が違い

徒然音楽草

その4

山木幸三郎

いいなあと思いました。テアワナコの遺跡は、インカ帝国の人たちもどうしてそこにあるのかわからなかったといひます。それは日本の面積の2倍以上あるアンデス高原のまん中にドーンとあるのです。〔太陽の門〕なんて高さ5~6メートルの一枚岩がスキマなく積んであり、どこからあんな大きな岩をはこんできたのか！クレーンなんかなし、今クレーンでも運べるか、だいたいクレーンはあるそこを走れません。沈んじゃって石にきざまれている柄だっとう見ても宇宙人です。誰がなんのた

めにこういう幾何学模様を考えたのか。コンドルなんか書いてあっても胸や羽根のおもしろい模様はよくみるとラジオやテレビの裏がわとよく似ています。形も鳥に似せてはあるがコンドルではなくゼッタイ人間だもんね……この模様はなにかの秘密機材です。顔の両側にイヤホンをつけてるし、このへんは空気調整機のような感じ。帰りはまた違う道を通り（道ではなかった）3時間ぐらい走った所で（往復約10時間）古い教会の立った村に着きここで15分休憩している時に、村の長老たち13人に囲まれドコから来たかと問われ、日本から来たと言うと、「そこはあのアンデスの向こうか？」と？いやもっと遠くの海を越えてと答えたら、「それはよっぽどトークなんだな？」と？帰り際に「ここにも時々トークから鉄のフネに乗った人間がクルよ。」と？と言って三々五々姿を消していきました。アンデスの高原に行くと実際に宇宙人がいるんだなあと感じてきます。あそこらへんなら何があっても不思議じゃないと思う。それから日本へ帰ったあと、宇宙人が100人ほど降りてきたという手紙をもらいました。惜しかったなあ。もう一度ボリビアに行ってみよう。宇宙人が降りてきた時とぶつかるかも？？までよもしかしたら、あの時の長老たちが？？

バンド楽譜の
今月の新刊案内
は中の頁です。

今日のもと法政大学のニュー・オレンジ・オーケストラで活躍した数人の友が一升ビンをさげてあそびにき、さっそく酒盛りとなった。最近の学生ビークバンドはどうですか？の質問があり、この夜はアマチュアジャズバンドの話がいろいろ「サカナ」になったのでなにかの参考になるかと思いついて書いてみます。ほんの数年前とくらべてずいぶんとうまくなったと思います。昔よりだんだんジャズの本質というかその曲の曲想をちゃんと把んでそれを表現するにはどうしたらよいか、どこを十分に練習するかなど大切な事が少しずつわかってきた様に思います。酒が進むにつれ、アメリカのアマチュアバンドの話になったので、モンタレーでのカリフォルニア州の高校生から聞いたアメリカの様子を話してみます。毎年おこなわれるモンタレージャズフェスティバルは、その売り上げ金が州の高校の音楽費として寄付されているのはご存じだと思います。そして三日間の演奏のうち一日の半分は高校のコンサート・オーケストラ（弦まで入った80人ぐらい）やオールスタービークバンドやコンボなどたくさん出演し、又、すばらしいゲストが共演します。僕が行った年はクラーク・テリー、チャック・マンジョーネにD・ガレスビーやJ・マリガンなど豪華な人達が入り、リハーサルでは丁寧に指導しておりました。この学生の何人かと友達になりアメリカの様子を聞きました。ジャズを教えられる所は、日本と同じ様に楽器

店のドラム教室風な所がたくさんあり、又自宅に生徒をこきせたり町の中に小さなスタジオをもって通ったりで、初歩からプロのミュージシャンを教える人まで、教わりたいと思う方が自分の程度にあった先生を選べるほど大勢いるそうです。レッスン料の方は教室風が安く1時間位教わって10ドル以上で、有名な先生ほど高くあつて次の人を待っていたりして時間もぎびしい、なんて聞いていました。次に楽譜の問題はどうだとの間に、アマチュアビークバンドが、ある曲を演奏したいという場合、そういうためのアレンジ

徒然音楽草

その3

山木幸三郎

ャーがたくさんいて好きなタイプのアレンジャーを選んでアレンジ料はリハーサル用かレコーディング用かによって違いこれは話し合いで決めるんだとのことです。日本の家の形や生活環境で一番困るのが自分の楽器を練習する場所です。ましてビークバンドの演奏場所となると大変です。この点もアメリカでは部屋の中でたいがいできるしそれ以上に地下室がついていてそこでだせば回りから文句なしだと。日本と比較してあまりにも恵まれているというか、うらやましいというか、でもこの様にジャズをやる条件が揃っているアメリカ

でも下手な人はやはり下手で大切なのはやはり音楽の本質を知ることです。それよりも彼等を見てもっともうらやましく感じたのはうまくても下手でも実際に音楽を楽しんでいることです。日本の場合、どこのアマチュアバンドでも意識が先にたつて良く聴かせようと固くなり自分の頭の中だけに高いイメージと合わずダメだと感じます。頭の中は聴けば聴くほどに高くなり……アマチュアには、当然に起こる「イタバサミ」はわかるが、しかしそのまじいと思う前に自分で楽しむことを考えなければいけないのでは。これと関連して日本人特有の引っ込み思案というか、こういう風習は彼等には全くなく、ソロなど与えられたらもう絶対に他人には吹かせず、ガレスビーだろうが、マリガンだろうが、誰の前でも喜んで吹いてしまう、つまり、自分はこれ位しか吹けないと思ってその限界の中で一杯吹いてみようという気持が強いので、僕はこれが楽しんで吹いている事につながる大切な事だと思ふ。音楽のでき方は技術的にうまいからではなく、間違いなくやってもだめなのはだめであり、楽しくなくてはならないという本当の基本をアメリカの高校アマチュアバンドにみた。

バンド楽譜の
今月の新刊案内
は中の頁です。

買ってからも何年になるか、今、使用しているのは、システムステレオ トリオSS4000です。確か7万円で購入したように覚えています。僕の場合、暇なときに聴いて楽しむというのがどうしてもできず、悲しい習性とでもいましょうか。「ああ、ここは、こういうふうになっていて、こう弾いているんだな！」などと、すぐ分析的になってしまい、そうやってバラバラにする聴き方をしてしまうので、皆と一緒に楽しく！なんてのは、我が家ではありません。いつもさみしく一人です。僕の場合、聴くポイントが少し違うのもっと良い機械にしたらと勧められても、どんな機械でも、良い演奏はいいってことになってしまうのです。本当にオーディオ機器の立派なのを入れようとする、それなりの空間とかが必要で、部屋をぶち抜かなきゃとかいろいろ面倒で。(本当は金がないから買えないくせに……)

演奏する側と聴く側みたいになってしまいますが、(これに関して聴く側の方が幸せだと思います。)僕の場合、聴く側になると、みんな良くなってしまい、たとえば、酒好きにどの酒を飲ませてもみなうまいと言うようなものです。これは、それぞれ聴き方があるから、その人が求める音に最も近いものを出してくれる機械が一番良くなっていきますよね。ただ、さっぱりわからないオーディオマニアが多いのにもびっくりします。僕の友で、最近ものすごいステレオ装置を買ったやつ

がいて(80万だと)このステレオを聴きにいったときは、もうばかばかしくて、腹が立って。(ステレオにはではないよ。)その友は、喜んでウィスキーなどついでくれます。まずはコルトレーンをかけてくれました。ここまでは良かったのです。ところが30秒もしないうちにやつはそわそわして「これも、又大変にイイよ！」と言いながら、スタンゲッツの新アルバムにと。

徒然音楽草

その6

山木幸三郎

そして、20回転もしないうちに、「ジャズもイイけどこれも。」とそれじゃというので、こちらも武満徹を聴くかまえになるうとする、1曲も終わらないうちに「山木さんはギターだね。」とバコ・デルシアと、それもほんの少々でジョルジュ・ベンと。そしてこの間、一人で喋りまくり、ワウ・フラッタがどうの、総合ひずみ率がなんだとか、これには大変まい

ってしまいました。こうなると、僕は、ステレオ装置なんて音楽の本質となんに関係もないではないかと、ますます腹が立って(何を言おうとしているのか、もうわからん。)再生音の良し悪しなど、もう末の末の話で、もちろん、音はイイのに越したことはありませんが、度合いが過ぎればバカなことだといっている、この度合いの過ぎたオーディオマニアを見ていると、なにか音楽に対するコンプレックスがあって、それをマニアになることによって解消しようとしている様に見える。かわいそうで、空しいことではないですか。何サイクルの音が聞こえたとかは、ただの電気キチガイで、音を楽しんでいるものでは決してありません。音楽をやっているものなら誰でもわかるように、どこまでいっても原音通りの再生なんてあり得ないんだから。音楽は、ただ耳の刺激のためではなく、心に向かってかかれたものであり、そこに鳴っている音世界にどの程度まで入り共鳴できるかが問題で、その没入の仕方によって、たとえそのものは全部わからなくても、それにかかわるなものかはわかってくれるのではないのでしょうか。

遂に SH1011 登場

●この楽譜は今迄のものよりソロ演奏をより際立たせるための吹奏楽譜です。

今迄よりもレパートリーがぐっと広がります。今迄にないバラエティーに富んだサウンドが生まれます。続々発刊予定です。

大編成 定価3,500円 中編成 定価2,500円

全吹奏楽ファンが待ちに待った
ソロ楽器をフィーチャーした吹奏楽譜

YS ソロ&吹奏楽シリーズ

- | | |
|---------------------|-------|
| 1. ナベサダ・ヒットメドレー | A.sa: |
| 2. マイ・フェア・レディー・メドレー | Tbトリオ |
| 3. ポパイ・ザ・セーラーマン | Tpトリオ |
| 4. シェルブールの雨傘 | ピアノ |
| 5. ラブ・ストーリー | ピアノ |
| 6. 恋のアランフェス | ピアノ |

日本は伝説の国です。どこの町や村にいても、伝説のないところはありません。昔から代々伝承された伝説は、おもしろく、哀しく、そして美しく、それはちょうど我々の心の故郷です。伝説というのは、昔から貧しさの中で生き続けてきた我々庶民の詩です。遠い昔から変わらぬものとする人も多いでしょうが、実際は、時代の荒波にもまれて変化をしながら生き続けてきたものと思います。伝説の中にこそ、変わらぬ日本人の血が生き生きと脈打っています。伝説のなかで一番耳にするのに平家谷や平家の落ち人の物語がありますね。平家が滅びてゆく哀れでしかも美しい物語に感動し、そのはかない運命を自らと比べ同情し深く心をうたれた人々が、村から里へと伝えたものでしょう。又、大変に怖い話もたくさんあります。昔、安達ヶ原に住む鬼婆が旅人に一夜の宿を与えては殺して人肉を食べたという黒塚伝説に基づいたものなどがそれです。また、山の神や、海、川、沼の神など、神様にまつわるもの、犬、狸、蛇など動物にまつわる話など、数えだしたらきりがありませんが、僕が一番興味を感じるのは、人間の想像

が産んだ妖怪もので、なかでも大変愛嬌のあるカッパです。コロソピアレコードから(日本伝説という文学的素材をテーマにすること)と依頼されたときも、音素材として河童を選び「妖怪河童今日何処棲也」という曲を書いたことがあります。河童は、お隣の中国から渡ってきたと伝えられ、現に熊本には「河童渡来の地」というところがあります。伝説は常に、具体

徒然音楽草

その5

山木幸三郎

的にどこの村のどの場所という風に結びついていますが、河童もそこから黙秘の夜旅が始まって、今では北海道にもいるそうです。旅の途中で悪病にかかって死んだたくさんの河童の霊が迷ってでる「亡霊の沼」もあるし、「奥儀伝授式」をやったところもあります。ネネコという名の女カッパの話もあります。ネネコは関八州の河童の元締で、中国の森源左衛門、九

州の九千坊など河童界の元老達に肩をならべる女カッパで、利根川の上流に棲息していたのが下って来て、いけすの魚を盗み、馬を水中に引きこみ、水泳中の子供のシリノコを抜き、農作物とくにキュウリ畑を荒らし、と女だてらに無双の暴れん坊だったといひます。利根町の加納家の先祖が、この手におえない女カッパを捕えて自分の屋敷のほくらにまつりこめて以来、すっかり心を入れかえたネネコは、今は、縁結びや、お産の神様、金もうけの神様として、靈験あらたかだということです。現代の日本は、都会といわず農漁村といわず、すべて一変してしまいました。それだからこそ、日本文化の故郷の姿を知ることは、僕たちの切実な問題になってきたと思います。若者と長老との断層はますます深くなるし、伝説の継承者もより少なくなっていると思います。このたくさんの伝説がいかに死滅していくのか、それが日本文化の展開の上にどんな意味をもつのか、もうそれを考えるのがおそいのではないかと!! 外国で日本の伝統的文化に関して質問を受けて、大変に困ったのは僕だけではないと思います。

大好評発売中

1枚ずつ簡単にはがして使える

イラスト付き **カラー♡5線紙**
定価 各900円

- 高音部用 A4版40Sheets
- 低音部用 //
- ピアノ用 A3版2つ折り20Sheets
- 電子オルガン用 //
- コーラス+ピアノ用 //

バンド楽譜の
新刊案内は
中のページに



MUSIC NOTE BOOK
カラー5線
イラスト付き
ピアノ用
By MUSIC EIGHT PUBLISHER CO., LTD.

先日、ある所で、ある主催によるアマチュアジャズバンドのコンテストの審査員を頼まれて出席したところ、大変に驚いたことになりました。審査員は、ジャズ評論家が5人と、一般から選ばれた人が5人と、僕と、もう一人、現役のプレイヤーの「Fさん」の12人で、「Fさん」と僕の付けた採点は大体似ていたんですが、評論家の先生方と一般から選ばれた素人の方の採点の付け方があまりにも違うので、びっくりしました。これはアマチュアバンドに求めるものの考え方の違いによるもので、それが良いか悪いかは僕にはわかりませんが、僕はただ、どれだけ理解して聴いているのかが問題だと思います。技術面しか見えない人や、自分の好みに合わせただけの人や、ただカッコがイイとかワルイとかつまらぬファッションのことなどでこの様な審査しかできない人達と一緒に、僕と「Fさん」は困ってしまいました。これでは演奏しているバンドの皆さんが可哀相です。「Fさん」とも話したんですが、演ずるのは、何よりもまず表現であり、目的は喜びです。専門家と素人の間にもそんな大きな違いはないと思うし、素質の上

でもさして違いはない、ただ程度の差があるだけだと思います。特にジャズの場合、新しいものを求める気持ちと、それを受ける心の広さだと思います。そのバンドの内容や曲の解説を読んだりしてそのバンドの音楽を理解したように思っている人がいますが、それは間違っています。それはただ解説者の見方がわかっただけで、自分の耳で聴いて理解し感じたことで

徒然音楽草 その8

山木幸三郎

はありません。たとえそのバンドについての知識を持ったとしても、その演奏から注意がはずれていけば、そのバンドとの対話はありえないのです。バンドや作品についての知識というのは、ジャズを聴いて何かを感じとったとき、その聴いたこと、感じたことと相互作用しなければ何にもならないのです。ここで知識とっているのは楽典のことではなく、たとえば、

デューク・エリントンの生没年とか、その社会的行動とか、その性質などのことであって、いくら詳しく知っていても、エリントンの音楽を理解したことにはならないということです。それは、歴史的な事実を知っただけであって、演奏を聴く人が作品そのものを理解しない限り、又、ジャズ感覚を鋭くしてその経験の質を豊かにしない限り、知識が役にたつことはありません。ジャズの起源や、作品の生まれてきた歴史を知っているだけで、あるいは、ジャズを分類し分析できるだけで、さもわかったと信じすぎています。そんなことより、自分なりに集中して、自分なりの感覚で洗練して、自分なりにジャズを受けとめることが必要なのではないかと思えます。ぜひそう考えて、ひとつひとつのバンドの演奏の中にある色や形を、自分の耳と心で接して評価して、じっくり採点しなければいけないのではないのでしょうか。

アマチュアバンドのコンテストならなおさらのこと、やれミスしたとか、テクニックがどうかとは二の次で、何よりもまず表現であり、喜びを与えることが目的なのです。

さっきまでワイワイガヤガヤといつもの仲間との酒盛り、それも終わり皆帰っていきました。もう夜中の丑三つ時です。余韻の残りでまだ眠れそうもなく、少し本でも読もうと棚の上を見て驚きました。僕の部屋は4、5畳たらずの真四角な小さい部屋で、正面は1メートル平方の窓、その窓の上下に棚があり、下の棚にスピーカーやカセットデッキなどが並び、上の棚にはもうガラクタがゴチャゴチャ。そこに今夜酒盛りの前に皆で作って遊んだ「力士人形」（ハガキの大きさの紙を半分に折って関取の絵を画いて切りぬいた物）がみんな前向きに並べてあったのが、身体全部いつのまにか後向きになっているのです。この夜のサカナは、楽器の調子を早く正しくあわせる、つまりチューニングの話であり、それも昔話や、いろいろな楽器による苦労など。チューニングにも、まず自分の楽器（弦楽器など）と、それからデュエット以上オーケストラまで、又、基準音のない（A音440サイクルとか）いろんな民族楽器やピッチの調節のできない楽器などがあります。数年前に、芝居の仕事で地味浄瑠璃、長唄などの和楽器のオーケストラの方々と仕事をし、この種のオーケストラは何を基準にするんだろうと見てましたら、第一笛者がたくさん長さ（ピッチ）の違う笛を持っており、毎日唄う人の調子に合わせて選んだ笛の調子に、三味線から琴から鼓まで全員合わせていました。コンボで米軍キャンプ廻りをしていた頃は、行

く所、行く所、ピアノとバイブのピッチが違うため、僕（Gt）とBassはどっちに合わせるかで毎日ケンカばかりしていました。レス・ブラウンのビッグバンドが初めて日本に来たとき、まずピアニストが、C、Eb、D^b、G⁷、とダイヤトニックのパターンを弾き出すと、それぞれが楽器を出して、すぐそれに合わせチューニングをしながら、指や口のトレーニングを

徒然音楽草 その7 山木幸三郎

兼ねて行なっていました。二度目の来日を見たのが、真冬のジョンソン基地内の外球場で、その寒さの中で、管の人達は息を吹きこんで温めたり、ドラムは（その頃はまだ本物のレザーで湿気に大変弱かった）電熱器を使ったりして工夫し、レス・ブラウンの指揮でテーマが始まった時は、そのチューニングのみごとさに驚きました。カラーテレビ放送になった時、リ

ハーサルが終われば本番になって演奏を始めると、あまりのライトの熱で、管楽器は上り、弦楽器やピアノは伸びてしまい、どうしたらいいのか怖かったのを覚えています。ギターは、6弦と5弦、4弦3弦の間は4度間隔で、3弦と2弦の間が3度、2弦と1弦の間が又4度であるため、軍歌の「父よあなたは強かった」と数唄の「ひとつとせーエエ」を歌えば、早く簡単にチューニングができるのです。（2つとも知らないって？）まず6弦をEに合わせます。（おんさでもよし。）そして、6弦を「チチよーあなた」と歌って5弦を合わせ5弦を「チチよーあなた」と、又「チチよーあなた」と今度は3弦を「ひとつとせー」そして又「チチよーあなた」とできた、できたー？？なんてばかなことをやって吞んでいたんだと、何気なくギターの6弦をボーンと弾いた瞬間に、ちらっと相撲人形が動いたのです。次の日、皆をよんで実演しましたが動きませんでした。ナゼナゼ……………？？

今日のバンド楽譜

吹奏楽	MC マーチングバンドピース	吹奏楽
YK-203 ハイスクール・ララバイ	MC-64 Dr.スランプ アラレちゃん	MC-69 嘆きのモチーフ <small>交響組曲第6番「悲境」より</small>
YK-204 ロンリー・ハート	MC-65 シティ・コネクション	MC-70 フラワーカーニバル <small>「くるみ割り人形・花のワルツ」より</small>
YK-205 悲しみ2ヤング	MC-66 ハイスクール ララバイ	MC-71 モーニング・プロムナード <small>パッパ「メヌエット」より</small>
YP-139 栄光をめざして	MC-67 白いバラソル	MC-72 交響組曲「シェラザード」
ダンスバンド	MC-68 シルクロードのテーマ	MC-73 歌劇「タンホイザー」序曲
XK-179 みちのくひとり旅		
XK-180 メモリーグラス		
XK-181 ハイスクール ララバイ		
XP-145 サンチェスの子供たち		

全吹奏楽ファンが待ちに待った
ソロ楽器をフィーチャーした吹奏楽譜
YS ソロ&吹奏楽シリーズ 続々発刊予定です

大編成	定価	作曲者名	ソロ楽器名
	3,500円	1. ナベサダ・ヒットメドレー <small>(カリフォルニア・シャワー～ナイスショット～オレンジ・エクスプレス)</small>	浦田健次郎 A.Sax
	2,500円	2. マイ・フェア・レディー・メドレー <small>(運がよければ～時間通りに救済へ)</small>	橋本信昌 Tbトリオ
		3. ボバイ・ザ・セーラーマン	橋本信昌 Tpトリオ
		4. シェルブールの雨傘	浦田健次郎 ピアノ
		5. ラブ・ストーリー	浦田健次郎 ピアノ
		6. 恋のアランフェス	松浦欣也 ピアノ

バンド通信

バンド通信

ひとつひとつの音符に 真心をこめて

株式会社 **ミュージックイト**

コーチすること

今年になって多くのアマチュアビッグバンドを聴く機会に恵まれ、社会人のバンド、大学生、高校生、小学生、そしてアメリカの学生バンドなど、仕事や勉強のかたわら大切な時間をさいての練習、その成果など、いろいろな人のお話を伺う事が出来ました。4月12日、渋谷エピキュラスでの東京都社会人ビッグバンド連盟によるコンサートにゲスト出演したのが、小石川高校“リトル・ストーンズ・オーケストラ”そして水戸短大付属高校“M・T・F・B&B”と、そのどちらも高校生からなる2バンドで、そのスウィング感の素晴らしさ。ハーモニーの美しさ、個性あるソロイスト等など、大変良い演奏を聴かせていただきました。水戸のバンドは、先生に「今日は東京に出て来たせい、おまえたち、少しあがるとる!」と、トレーニングパンツに着がえさせられ約1時間あまり渋谷の町中を走らされてからステージに上がっていましたよ!6月25日には、新宿厚生年金ホールで、日米ビッグバンドフェスティバルが行われ、ゲストはカリフォルニアから遠征してきた“U・C・パークレー・ジャズ・アンサンブル”という大学生バンド、早大ハイソ、慶応ライト、更に東京と神奈川のアマチュア連盟オールスターの2バンド。そして、ムーンライトセレナーデのミラーサウンドで始めて登場したのが板橋区立稲荷台小学校の“ニイニイゼミ・ポップス・オーケストラ”、その瞬間、ビックリ仰天、そのうまさに観客全員が驚異というか、おそろしい気にさえなりました。5ペット、5ポーン、2クラ、6サクソ(女の子もいる)で、ただしリズムセクションはプロの人達、駒形祐和先生(指導、指揮)も「リズムは子供には無理でした。」と言っておられました。無理といえば、バリトンなど大き

ラ”、その瞬間、ビックリ仰天、そのうまさに観客全員が驚異というか、おそろしい気にさえなりました。5ペット、5ポーン、2クラ、6サクソ(女の子もいる)で、ただしリズムセクションはプロの人達、駒形祐和先生(指導、指揮)も「リズムは子供には無理でした。」と言っておられました。無理といえば、バリトンなど大き

徒然音楽草

その9

山木幸三郎

くて重くて持てず、先生が運んでセットされ、奏者の女の子は立ったまま吹いていたし、トロンボーンは、4ポジションしか腕が伸びず、5、6、7ポジションはひもを巻いて伸ばしたりひっぱったりしてカバーし、そのテクニックだけでも独特だし、色々な面で工夫され、全く大人と劣った様子がなく、一生懸命に演奏している姿の

美しさには涙が出てしまいました。5回も転調した高度な曲もあり、その力強さ、スウィング感、全くミスのない正確さ、など素晴らしいバンドです。それだけ、「毎日4時間、日曜も、スパルタと言われるのが、子供だからといって甘えさせません。」と言っておられました。コーチする先生によって才能が引き出され、こんなに素晴らしいバンドが生まれるのには驚きです。タッカー博士率いるU・C・B・J・A・も大変に素晴らしいバンドで、先生は僕に「どうしてもまだ学生の場合、その曲のスタイルの見極め方がわからず、いつもワンパターンになるおそれがあり、曲想を理解して想像することが一番大切だ。」と。このバンドもコーチよろしく説得力のある良い演奏でした。U・Cバンドの終りに、ニイニイゼミの子ビッチから全員に花束が贈られ、あったかい風景に、この時ばかりは、音楽に言葉も圏境もないとつくづく思い、自分も音楽にたずさわっていて本当に良かったなと思いました。

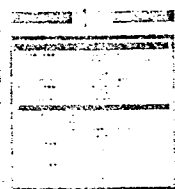
徒然音楽草

山木幸三郎

その10

今年になって多くのアマチュアビッグバンドを聴く機会に恵まれ、社会人のバンド、大学生、高校生、小学生、そしてアメリカの学生バンドなど、仕事や勉強のかたわら大切な時間をさいての練習、その成果など、いろいろな人のお話を伺う事が出来ました。4月12日、渋谷エピキュラスでの東京都社会人ビッグバンド連盟によるコンサートにゲスト出演したのが、小石川高校“リトル・ストーンズ・オーケストラ”そして水戸短大付属高校“M・T・F・B&B”と、そのどちらも高校生からなる2バンドで、そのスウィング感の素晴らしさ。ハーモニーの美しさ、個性あるソロイスト等など、大変良い演奏を聴かせていただきました。水戸のバンドは、先生に「今日は東京に出て来たせい、おまえたち、少しあがるとる!」と、トレーニングパンツに着がえさせられ約1時間あまり渋谷の町中を走らされてからステージに上がっていましたよ!6月25日には、新宿厚生年金ホールで、日米ビッグバンドフェスティバルが行われ、ゲストはカリフォルニアから遠征してきた“U・C・パークレー・ジャズ・アンサンブル”という大学生バンド、早大ハイソ、慶応ライト、更に東京と神奈川のアマチュア連盟オールスターの2バンド。そして、ムーンライトセレナーデのミラーサウンドで始めて登場したのが板橋区立稲荷台小学校の“ニイニイゼミ・ポップス・オーケストラ”、その瞬間、ビックリ仰天、そのうまさに観客全員が驚異というか、おそろしい気にさえなりました。5ペット、5ポーン、2クラ、6サクソ(女の子もいる)で、ただしリズムセクションはプロの人達、駒形祐和先生(指導、指揮)も「リズムは子供には無理でした。」と言っておられました。無理といえば、バリトンなど大き

バンド楽譜

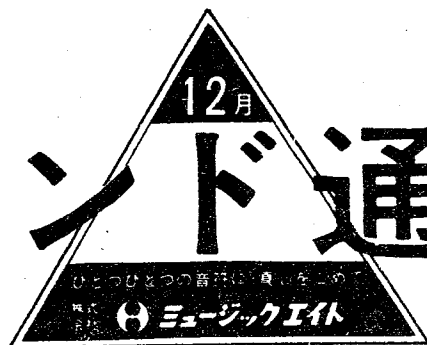


国カタコノ

バンド楽譜 今月の新刊案内

吹奏楽 歌謡曲	YK-206	風立ちぬ
	YK-207	ギンギラギンにさりげなく
	YK-208	涙のスイート・チェリー
	YK-209	キスは目にして!
ポピュラー	YP-140	サンチェスの子供たち
ダンスバンド 歌謡曲	XK-182	風立ちぬ
	XK-183	キスは目にして!
ポピュラー	XP-146	栄光をめざして

バンド通信



只今、ある歌手のダビング、そしてトラックダウンも無事終わりあとはカッティング工場に送り、レコードが出来て再生できる事を祈るばかりで、スタッフみんなでホット一息、一杯やっているところ

です。今思うに、この何十年の間にレコードやテープ等々音に関するもののこれほどの変わり様は驚くばかりです。スタジオにしても、僕が初めて仕事をした頃は、冬はランタン火鉢、夏は水の柱が立っており、マイクロホーンも竹竿につるしてあり、それから数年後は、冷暖房がついたけれどウンというモーターのノイズがうるさいため本番中はスイッチを切って録音に入ったものです。勿論唄う方もバックグラウンドのミュージシャンも同時録音で、歌手が間違ったりノッていなかったりすれば何回もやりなおしをしたりしました。

ディレクターのKさんはもう目のふちを赤くして(酒のせい)、「僕が大阪から東京に出てきた時は12時間かかり、31年の秋に電化が完成して7時間半、33年にはこだま号が6時間半、今では3時間10分で電話もかけられるんだもんねー」と技術の進歩を違った目で見て驚き、レコーディングエンジニアのM君は、「若いオナゴもオパンもGパンをはき、男の子は皆長髪でパーマントをかけてるもんねー」と時代のへんな文化変化

に驚き、又、Oさんは、「僕はいも焼酎で酒を知ったが、今じゃ、ビール、ウイスキー、ワイン等、世界中の酒、各国の料理が食べられるもんねー」又「僕が知っている銭湯の料金は7円だったのが今は220円だもんねー」「今はみんなヘルメットをしているけど、長嶋の頃は耳の所はかくれてなかった

徒然音楽草

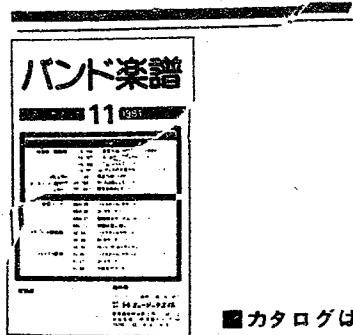
山木幸三郎

その10

た、王はあったのかぶらなかつた、荒川さんの頃はヘルメットもなかったもんねー」「月島の先は海だったのに晴海や夢の島、日本も広くなったもんねー」。もうこうなったらつきる事はありません。スタジオの空間や照明、そしてそこにおさめられたあらゆる機材、録音の方法、技術の進歩、プレイヤーの高度なテクニックなど、それは驚くばかりです。モノラル、ハイフェデリック、ステレオ、4チャンネルシステム、今日のマルチトラック録音、又、スタジオでは味わえない生の奮闘気をとるためのライブレコーディング、そし

て従来のマイクロフォンセッティングをさげ、テープのエコーマシンを使用せず、アコースティックのすぐれたコンサートホールを使って、自然なバランスとナマの残響をそのままラッカーにカッティングするダイレクトディスクなどその音楽の種類によって、いろんな方法でいかにして美しいサウンドをまとめとることができることかと!

しかし、いくら良いスタジオや先端をいく録音装置があっても、すぐれたミュージシャンとエンジニア、それにメンテナンスやオペレーターと、全員が細かい指示や技術的なアドバイスを話し合い、ピッタリ四つに組んで集中して結ばれ仕事をしなければ良い結果はでないと思います。美しい音楽を作るのは、人間のチームワーク、みんなの協業のたまものだと思います。



■カタログは毎月1日に発行します。御希望の方には無料でお送りしますので、当社までお集書かお電話でご請求ください。

バンド通信



只今、ある歌手のダビング、そしてトラックダウンも無事終わりあとはカッティング工場に送り、レコードが出来て再生できる事を祈るばかりで、スタッフみんなでホット一息、一杯やっているところ

です。今思うに、この何十年の間にレコードやテープ等々音に関するもののこれほどの変わり様は驚くばかりです。スタジオにしても、僕が初めて仕事をした頃は、冬はランタン火鉢、夏は水の柱が立っており、マイクロホーンも竹竿につるしてあり、それから数年後は、冷暖房がついたけれどウンというモーターのノイズがうるさいため本番中はスイッチを切って録音に入ったものです。勿論唄う方もバックグラウンドのミュージシャンも同時録音で、歌手が間違ったりノッていなかったりすれば何回もやりなおしをしたりしました。

ディレクターのKさんはもう目のふちを赤くして(酒のせい)、「僕が大阪から東京に出てきた時は12時間かかり、31年の秋に電化が完成して7時間半、33年にはこだま号が6時間半、今では3時間10分で電話もかけられるんだもんねー」と技術の進歩を違った目で見て驚き、レコーディングエンジニアのM君は、「若いオナゴもオパンもGパンをはき、男の子は皆長髪でパーマントをかけてるもんねー」と時代のへんな文化変化

に驚き、又、Oさんは、「僕はいも焼酎で酒を知ったが、今じゃ、ビール、ウイスキー、ワイン等、世界中の酒、各国の料理が食べられるもんねー」又「僕が知っている銭湯の料金は7円だったのが今は220円だもんねー」「今はみんなヘルメットをしているけど、長嶋の頃は耳の所はかくれてなかった

徒然音楽草

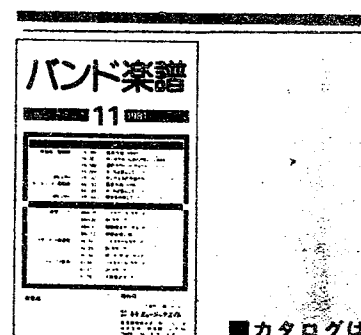
山木幸三郎

その10

た、王はあったのかぶらなかつた、荒川さんの頃はヘルメットもなかったもんねー」「月島の先は海だったのに晴海や夢の島、日本も広くなったもんねー」。もうこうなったらつきる事はありません。スタジオの空間や照明、そしてそこにおさめられたあらゆる機材、録音の方法、技術の進歩、プレイヤーの高度なテクニックなど、それは驚くばかりです。モノラル、ハイフェデリック、ステレオ、4チャンネルシステム、今日のマルチトラック録音、又、スタジオでは味わえない生の奮闘気をとるためのライブレコーディング、そし

て従来のマイクロフォンセッティングをさげ、テープのエコーマシンを使用せず、アコースティックのすぐれたコンサートホールを使って、自然なバランスとナマの残響をそのままラッカーにカッティングするダイレクトディスクなどその音楽の種類によって、いろんな方法でいかにして美しいサウンドをまとめとることができることかと!

しかし、いくら良いスタジオや先端をいく録音装置があっても、すぐれたミュージシャンとエンジニア、それにメンテナンスやオペレーターと、全員が細かい指示や技術的なアドバイスを話し合い、ピッタリ四つに組んで集中して結ばれ仕事をしなければ良い結果はでないと思います。美しい音楽を作るのは、人間のチームワーク、みんなの協業のたまものだと思います。



■カタログは毎月1日に発行します。御希望の方には無料でお送りしますので、当社までお集書かお電話でご請求ください。

2月号

1982

No.14

バンド通信

ひとつひとつの音符に 真心をこめて 株式会社 ミュージックエイト

新年号

1982

No.13

バンド通信

ひとつひとつの音符に 真心をこめて 株式会社 ミュージックエイト

「うた」のレコードを作る場合、今日では、90パーセント、マルチトラックのスタジオ録音です。まず、1番ベースになるリズムセクションの録音に入ります。ピアノ、ギター、ベース、ドラム等、各々の音がかぶらないように、一人一人隔離されて、お互いの顔も見えずに、皆ヘッドホンをたよりに演奏したものを録音していきます。これは大変なことですが、ただ単に楽器だけのテクニックではなく、このあとプラスセクションがこうなって、ストリングスがここから入って、ここで盛り上がり、フォルテシモになり、サビの後からボコ・ピアノシモに??なんて、全部相像しながらプレイするわけです。このように、まずリズムセクションのみとるのですが、1回演奏して譜面のコピーミスや約束ごとをちゃんと決めて、テスト録音に入ります。それをプレイバックしてもらい、ディレクター、ミュージシャン、ミキサーなど、たずさわる人全員でいろいろな事をもう一度話し合い、本番に入るわけです。ここでOKがでると、リズムセクションのメンバーはサヨウナラ。その録音されたテープの上に、プラスセクションやストリングスなどをかぶせていくのですが、これも皆ヘッドホンで聞きながらの演奏でして、そのテクニックは大変なものです。ひとつの楽器の録音の仕方も1日1日と進

徒然音楽草

その12

山木幸三郎

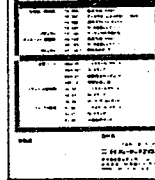
歩いて、ピアノでも底音部分はナニ型マイク、中音部はナニ型、高音域はナニ型と3本は使い、サクサクセクションはナニ、弦セクションはナニ型などと。又こんなことはしょうがないことなのに、ギターの弦のこすれる音や、ピアノやバイブのペダルノイズなど、いろんなことに注意されたりします。僕の知人の邦楽の方も「スタジオ録音のときは、着物、着てきちゃいけないって言うのよ。セーターじゃ気分出ないわよね、だったらお酒ぐらい出してよ」と笑ってました。絹ずれの音が入ると困るとのことです。この様に、カンバンを作る人、それを建てる人、デザインを考える人、字をかく人、絵をかく人、色をぬる人、ネオンをつける人、みたいに、カラオケが出来上がり、最後にうたのダビングになり、うたもワンコーラスは上出来だが、ツーコーラスめは良くないと、そこで2番目だけやり直しをして入れ替えたり、又、ワンコーラスのおしまいのワ

ンフレーズ「かもめよー、サヨウナラ〜」だけやりなおしをしたりして、うたのダビングがあり、録音全部おわります。この様なわけですから、バランスもなにもないわけで、それを整える次の大仕事、トラックダウンに入ります。イントロのソロ楽器をもう少しオンにとか、オブリガートを薄くとか、エコーが、声のツヤが、エンディングのOutが、いろいろやって、出来上がったテープをカッティング工場に送るわけ。この様に、企業化というのか、商品としての完璧度というのか、効率を良くしてとの考えなのか、ただオーディオ的良い音というのか、問題です??要するに、ハードじゃなくて、ソフトウェア的な録音方法のため、レコードでは、音楽するってところから今は違っていると思うんです。最近スタジオの中に入るだけで、ブルブルってき……ます。

バンド楽譜の総合カタログ

バンド楽譜

11



ご希望の方に無料でお送りいたします。当社までお葉書かお電話でご請求ください。

今まで僕は一ヶ月の予定、一日の予定なんていうものはまるで考えずに過ごしてきました。忙しければ忙しいように、ひまならば又そのように、自分の気持ちも体もそれにならっていくらでもついてゆけました。かなり酒を呑んでも、徹夜も平気でしたが、今は一夜寝ずの翌日は疲れがひどくてどうにもならない時が多くなりました。このため、最近の一日は朝起きた時に、今日一日の終わりの眠りを主体に考えて時間割を作るようになりました。目がさめるのは朝の7時頃で冷たい牛乳をコップに一杯のみ、これで胃腸の方が先に目ざめ、そして又もやふとんにもぐり込む、そして仕事の段取りなど考えながら目は閉じています。気分が乗らなくて何も決まらず、時間の余裕がなくなった時は、その日一日非常に苦しく体もきついものです。何かの拍子にハッとある構想が一瞬浮かぶことがあります。

(年に2回ぐらい) どこをどうしとかいう「カタチ」ではなく、感じとして。その時はすぐ起きて顔を洗ったり、便所へ行ったり、新聞を広げて梅干をなめなめお茶を飲んだりしているうちに、頭の中で少しずつカタチに、形にととのえてゆきます。コンサートやなにかで外に出る日以外は、第1食は12時に、味噌汁一杯、ふりかけ、それになにか一品つけて、ご飯も一杯しか食べません。それから仕

徒然音楽草

その11

山木幸三郎

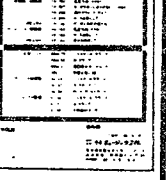
事に入るのですが、そのまま夕飯まで仕事ができた時は、最高に気分が乗って調子の良い時です。そうなれば夕飯後ちすぐ机に向かうことができます。感覚的にも大変にらくです。ところが、たいていいつもはいつまでもぐずぐずして、夜になっても雑誌をみたり、ごろごろ寝ころんでナイターを見たりして、そんな時のいらいらした気分はやりきれません。おまけに、家の者は、ナニをナマケテいるのかと、シロイ目でみているし、それに仕事の内容ですが、毎日、かなり違ったことをしなければならぬことがあります。きのうはジャンソンの唄のアレンジがあり、あしたは沖縄民謡を素材にした仕事、などのようにあるわけで、何よりも気分の転換と曲想の構えなどをうまく考えて行ななければどうにもなりません。しらないうちに着ているものを取り替えたりしていることもあります。そんなわけで、その曲想を考えその中に入る時間だけで一日の大半は過ぎてしまい、机に向かってスコアを

書くことはほんの最後の仕事で、机にすわるまでが苦勞するわけです。夕飯は7時頃で、日本酒を三合ぐらい呑み米類は食べません。そして又、ぼんやりとテープやレコードを聞いたり、読書したりしてシロイ目でみられる時間を過ごします。しかし、この孤独な時間が僕が一番好きな時であり、どんな事にも余裕を持ってあたりたいと思うし、余裕とは何かを考える時間だと思って大切にしていきたいと思います。仕事はいつも11時には終わりたいと思っています。それから風呂に入り、呑みながら志ん生を聞いたり、深夜テレビ映画を見たりすることもあります。単調な毎日を過ごしていますが、スコアができて、演奏者全員の協力があって音になったとき、そして新しい何かを得たとき、今まで孤独で面倒だと思ったことが幾度あっても、結局やめられないのでは!

バンド楽譜の総合カタログ

バンド楽譜

11



ご希望の方に無料でお送りいたします。当社までお葉書かお電話でご請求ください。

4月号

1982 No.16

バンド通信

ひとつひとつの音符に 真心をこめて 株式会社 ミュージックエイト

明け方、まだ外は暗い。時計は4時44分を指している。さっきから机に向いているのだが、ちっとも仕事が進まず、ただ、ほんやりと頬杖をついているだけである。オ三者が横から見たら、ただ散らかして、苦しんで、まるで病人だと思いに違いない。僕は暖房が体質的に合わず、手袋をして、マフラーを首に、毛布を頭から被って、ブルブル震えて寒さをこらえている方が、アタマも冴えて、なにかが来そうな気がする？

この時刻はバスの音もまだ聞かなくて、カラス(裏の方は、大きな病院と森が多いので、なぜか居るのだ)も音をたてず、教会の鐘の音も無く、一切、もの寂しく暗い。

そして、朝のオ1音が、遠くから段々「カチ、カチ」鳴る音が自転車で揺られて、静かに窓へ届く。殊に今日みたい寒い冬の未明の時だと、澄んで落ち着いた、かわいらしい、いい音だ。気付かないまま過ごしていたが、最近はその音もなぜか聞えなくなってしまった。牛乳配達より、少し遅れて、新聞配達の自転車のブレーキの軋む音がする。慣れた配達人だと、ブレーキの巧みさ、配り方の速さ、風の様である。

昔は、ズックの運動靴の音で、「タッ、タッ」と聞こえ「ガサガサ」と郵便受けに、一軒ずつ駆け、そして「ヒタ、ヒタ」と角を曲るとスッと聞こえなくなったりして、

徒然音楽草 その14

山木幸三郎

やはり気持ちのいい音であった。

僕等は「新聞が来る」という。先日、アメリカのミュージシャンと一杯やったの時、日本では、一ヶ月毎に集金人が来て、それを払いさえすれば、朝に夕に、後は寝たまま枕元に配達される。日本の習慣として、新聞は与えられ来るものかと思っていると云ったから、びっくりしていた。アメリカでは、靴を履いて町角まで出掛けて行って、好みの新聞を買うものかとの事。この習慣は日本だけのものかもしれません。

新聞配達のあとはもう、電車、バスの始発の音、タクシー、自家用車、バイク等の音や声が聞こえてきます。日中になれば、安売りの宣伝カー。石焼きイモ屋、そして、あのチリ紙交換。これが僕の地区の三大荘重音であります。どれも皆、テープで声を流していません。宣伝カーの黄色いソプラノ。これはよくボリュームの出し過ぎで、スピーカーから、何を言っているのか解らない時の方が多い。

(バカだね)石焼きイモ屋は、たまに自声で流してる者もいるが、同じテープがあるのではないか。一人朗々としたバリトンで「オイモ・オイモ・オイモー」「イシーヤーキイモー」「ホカホウー・オイモ」。この3つのフレーズのレピートで通るのだが、なかなか上手いので覚えている。このテープを昭島市にいる友達の家で聞いたのでした。

そして、あのチリ紙交換の不敏さとか、人並みじゃないと云うか、なんでも、トイレトペーパーと化して行くのには敬意を表したい。古新聞、古雑誌だけじゃなく、古楽譜、古スコアー、古ギター、古アンプとまるで僕の家の中にあるもの全部トイレトペーパーと交換しようと言っている。横では「古亭主」もなんて言ってるやがる。

ブルブル。今朝は特に寒い。近頃牛乳は瓶に入れなくてワックス紙の箱に入り、あの期待音も聞けなくなった。酒も紙箱になりつつある。ビールもワインも、紙箱になったら、どんな味?どんな音?

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★
バンド通信定期購読のお知らせ

定期購読をご希望の方は、1年分送料として、720円添えてお申し込み下さい。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

3月号

1982 No.15

バンド通信

ひとつひとつの音符に 真心をこめて 株式会社 ミュージックエイト

広島に用事ができて出かけることになりました。先方は当然飛行機の手配をしますと言うのを、僕は往復とも地上をはしりたいと申し出ると、あちらでは不思議な顔をなされたが、強引に希望を通しただけではないし、これほど早くて便利な乗物を毛嫌いしているのではなく、実はここ数年間、新大阪より先を鉄道、又は自動車などで行った事がなく、それに昔のことですが、この沿線のある町にちょっとした思い出があるので通ってみたかったのです。あの頃はよく演奏旅行があったので通り過ぎるの駅にもそれぞれ思い出があります。今からなん年前になりますか、まず静岡まで来てコンサートを終えたと、帰りは列車もなく一夜泊まりでありました。下関、福岡、佐賀、佐世保、長崎と演奏を続け帰りは三日間かかったことや、函館、札幌、帯広、根室とコンサートを続けて帰りは汽車と青函連絡船と乗り続けて四日間もかかったことなど、いろんな事がありました。もともと旅は大好きで、上野駅から北国行きの夜行列車などに乗りこむと胸がどきどきし、とりわけ寝台車が好きで、もうたまらずときめいてしまい、ビールなど飲みながら走り去る窓の外の夜景など眺めると、眠ってしまうのが惜しくて、人影もない小さい駅の改札を照らし出す寂しい明かりや

徒然音楽草 その13

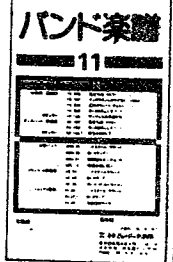
山木幸三郎

山間に点々と散る民家の灯火などが目にうつります。そして体に聞こえてくるあの線路と車両の「ゴットン・ダットン」という響き。これも、東海道線と北陸線ではもちろん違い、地方のローカル線も又みんな、なんともよいきもちのリズムが感じられました。又、あの頃の汽車旅の楽しみは駅弁でした。僕の場合、フルバンドでの旅が多かったのでいい駅弁というかわりに、というよりは、はじめはなれないでいろんな失敗もありましたが、人数が多いので、東京を出て西下する時は、東京駅で一つ、横浜で一つ、小田原で、静岡で、豊橋でという風に、一人ずつ駅弁を買っていき、やおらみんなでおかずの折を廻らあって食いはじめると、居ながら三県ぐらいの珍味を一つ時に味わうことができるのです。このように、汽車の中で食う駅弁にも駅によってかなりいい

のやまずいのもわかり、それから何線はどの駅弁などと自分の好みに合わせたものです。又その頃は、冷房車なんてものは無いので、「ブッカキ氷」を駅で売っていたのも夏の風物でした。ちかごろは客車の窓があかなくなったので駅弁を買うのも大変なことになり、昔のように「すしに弁当、サンドイッチ、お茶お茶」と大声で発車のベルが鳴って、ゴトンと走り出した客車の窓から、弁当とおつりの小銭を受け取った頃は生きた駅弁の感じがしました。デパートで全国駅弁大会などが催されても生きた感じがせず、買う気になりません。今では日本中ジェットなどで日帰りで仕事できて、地方の友達と地酒に酔ってバカ騒ぎもできず、駅弁もなつメロ的になってしまいました。

気がついたら、知らぬ間に、むかしの思い出の町をとくに通り過ぎていました。ざんねん……。

バンド楽譜の総合カタログ



ご希望の方に無料でお送りいたします。当社までお書かけお電話でご請求ください。

6月号
1982 No. 18

バンド通信

ひとつひとつの音符に 真心をこめて 株式会社 ミュージックエイト

仙台には、いままで10回ほど行ったように思います。ほとんどがコンサートで、春の時もあったし、しとしと雨のうすミドリにかすむ青葉城を見たつゆ時、にぎやかな七夕、少しさみしそうな秋の松島、そして雪の降る夜景。ただいま、仙台電力ホールでのコンサートも終わり、みんなで一杯やって、ホテルに着き、ベッドにすわりながら窓をみているところ。この同じホテルに泊ったのが、もうなん年前になりますか、冬のことですが、その時はある音楽雑誌の取材(アマチュアジャズバンド)とクリニックの仕事で仙台に来た時です。この時は、街中で20センチぐらい雪が積もっていて外は大寒く、編集担当のKさんはとても気のつく方でして、「今日はひえますね」と、ランチタイムに1本つけてくださいました。もう1人同行のカメラマンのHさんは酒は全然やらず、彼のぶんもいただきました。(こういう事はよく覚えているのだ)そのほかの事は、いつものように記憶力がすこぶるアイマイでいいかげんになるのですが、仙台空港を午前5時とか4時30分とかいう飛行機で、4時30分なら街を3時に出ればいいのではないかと、はっきり覚えていませんが、とにかく夕方には仕事をすませてホテルをひきあげて、お決まりのように呑みに出かけました。そういうわけですので、仙台の仲間達3人

徒然音楽草 その16 山木幸三郎

に連れられ計6人、なにしろ魚、肴はおいしいし、僕たちは時間の許すかぎり、あの店このバーと飲んで歩き、最後の酒場では、僕の事(いや、僕のいるバンドの事やジャズのこと)を知っているホステスさんが居たりして、もうだんだんおもしろくなって来ました。そのひとは、東京にいた頃お友達たちがジャズキチばかりでよく聴きにきましたとの事。こういう事を言われると、妙にナツカシような感じになるものです。旅のおもしろさや旅情とは、こういう感じのものをいうのかな。それから、それぞれペア風になり、新しく出来たホテルの最上階にあるナイトクラブへ行き、又また一杯。この頃は全国的にホテルブームで最上階はレストラン、夜はクラブというのがはしりで、どちらでもそれを自慢する気配があったように思います。ホテルの最上階だから見晴らしがいいはずですが、雪がはげしくなり、街の灯がかすかに、そして少しずつ消えてゆくよ

うにうつり、「なごりおいしいわねえ」と彼女が言いました。「もう一晩泊っていけるとしたらこのホテルに……」こちらもそういう意味のことを言いました。「もちろんよ」と彼女が言いました。彼女の方は、僕と編集担当のKさん、カメラマンのHさんと、同行者3人が飛行機のチケットを持っているので安心しているのです。「あら、それよりも私のアパートに来て、ここから見えるわ」「……」「残念だね」「惜しいなあ」「またいらしてね」「かならず」「その時はキットね」「アア」時刻になって立ちあがった時、Kさんが来て、今夜は雪のため欠航だと…? 僕と彼女がどうしたのか記憶にないのです。もとのホテルにもどると、一部屋だけしかあってなく、もう遅いのでサービス皆無。床に毛布、ベッドにシーツ、椅子に寝間着と、3人別れて少し眠り、その寒かったことだけ覚えているのです。ゾッ。ゾッ。ゾッ。
★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★
バンド通信定期購読のお知らせ
定期購読をご希望の方は、1年分送料として、720円添えてお申し込み下さい。
★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

5月号
1982 No. 17

バンド通信

ひとつひとつの音符に 真心をこめて 株式会社 ミュージックエイト

冬になると、がぜん多くなるのが、大学のコンサート、リサイタルで、今夜もH大学のコンサートに出かけ、今、打ち上げパーティーの真盛り。どこの大学でも、この日は大勢のOBの方々が駆けつけ、1年に1回会える時でもあり、その時代の思い出、仲間うちの噂などに花が咲き、あちこちで大きな笑い声が聞こえ、酔うほどに必ず苦労話と自慢話になるようです。H大学のオーケストラとのお付き合いも、昭和46年(赤軍派学生によるヨド号乗っ取り事件。ルイ・アームストロング死去)からで10年目。その間に多くの友が出来てうれしく思っています。10年間のOBの友が学生当時の活動や舞台裏の様子、さらに世間一般について回想話を聞いていますと、音楽の方向性というか、その時代の同じ空気を吸っていることがわかります。僕がジャズに興味を持った頃は、日本ではベニー・グッドマンなど快適なスイング・スタイルで、敗戦の痛手にも負けず、少しずつ明るい時代に向かいつつあった様に思う。本場のアメリカでも、昭和12年頃が大不況からの回復期であったようで、資本主義社会があじわった苦汁……。会社、工場そして銀行などが次々とつぶれていき、失業者は町に溢れ、それがやっと回復期に入って明るくなるにつれ聞こえて来たのが、健康的でスカ

徒然音楽草 その15 山木幸三郎

ッとしたスイングジャズで、グッドマン。トミー・ドーシー。グレン・ミラー。アーティ・ショウ。ハリー・ジェイムスなど、皆白人バンドに人気があったと聞き、今でもレコードを聞くと、明るくて「よかった、よかった、又働くぞがんばるよー」と感じます。ここでおもしろいのは、この時、ベニー・グッドマンが使用したパート譜は、その10年も前に黒人のフレッチャー・ヘンダーソンが書いて演奏していたものだそうです。同じ曲をヘンダーソン・バンドのレコードで聞かせてもらいましたがその時代感、世直し音楽には聞こえず、よみがえりもなかった。オ2次大戦後は世界中が騒々しかったらしい、日本では、ヤミ市が立ち並び、新円切替えや、なんとか成金だとか(この頃の事は、よくわからないよ。ガチャ万時代と言ったらしい。)減茶苦茶で、アメリカでは、チャーリー・パーカー。ガレスビー、チャーリー・クリスチャンや大勢の黒人によ

て「ビ・バップ」と云うニュージャズが生まれ、それから、蛍光灯の青白い沈黙期に入って、白人によるクールジャズ全盛。昭和35年頃は、アフリカ大陸の黒人たちが、実に21ヶ国もの黒人共和国を創り、アメリカの黒人が「ブラック・イズ・ビューティフル」と自我に目覚め、猛反発が起こり、ファンキー・ジャズがクールをノック・アウトした。昭和37年、M・モンロー死去。全世界の若者が体制に反抗し、大学紛争大発生。フーテン、アングラ、そして、フリージャズが唸り出した。昭和45年頃からは、一転してシラケの時代。スモッグ、ヘドロ、公害。ウェザー・リポート結成。デューク・エリントン死去。但し「ディスカバー・ジャパン」あらゆる日本的な物が見直され日本のジャズも立派に根を据えた。昭和56年、ウォーク・マンをつけ無関心時代。今も同じ時代の空気を吸っている。なにに、惹かれようが自分の気持ちに忠実であればいいわけだ。サア、今夜も呑むぞ!!
★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★
バンド通信定期購読のお知らせ
定期購読をご希望の方は、1年分送料として、720円添えてお申し込み下さい。
★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★



その18 インドにて①

1月29日17:45。成田空港から、インドのニューデリー行きのアリタリア航空の飛行機に乗る。こんどの旅は、ボンベイで開かれるジャズヤトラー・コンサートに出演するためです。延々13時間、やっとデリーの空港に「ドスン」と大きな音をたてての着地で、その後も滑走路をかなりの乱暴な操縦で走り、止まる。空港は、はだか電球がぼつんと点いているだけで、ひどく暗く、なんとも言えない臭いのする大気。眼を凝らすと、薄汚れた白や青色のターバンを巻いたじいさんや、濁った目をした髭づらの小男。皆裸足で手を出す、物乞子供たち。通路はごった返えし、周囲はヒンズー語の世界。この税関の荷物検査は、案外簡単にオーケーというポーズを取ったが、迎えに来て下さった係の人が、陰で役人に幾枚かの紙幣を手渡すのを見てしまった。

空港よりバスで(このバスが、大変古い物で、僕よりは、はるかに年上) 小一時間位で、ご当地一番だと自慢する に入る。現地時間は、(日本より3時間半針を戻す) 朝の4時頃で、まだ薄暗く途中は人影も見えず、すれ違う車もなく窓から見える家並みは電気一つ点いてなく、ひっそりとしていた。

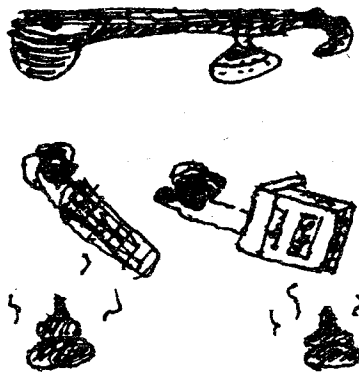
デリーは思ったより涼しく、セ

ーターを着てちようどよいぐらいであったが、寝る頃には大変寒く夜中に目が覚めて、外したベッドカバーを掛けたりした。朝めしはホテルのレストランで、ごく当り前のパンにハムエッグにジュース、コーヒーなどで15ルピー(1ルピーが27円程)。そのパンのまずい事。昼めしも同じレストランでメニューにカレーとあったので、それを注文すると、カレイの様な魚がっぱい入ったカレーが出て来た。だがその辛さと魚肉の臭さ。それを消すための香料なのかも鼻が曲りそうになってしまった。

昼食後、タクシーで町へ出た。どのタクシーも今から30年位前の小型車で、そのシートの汚い事。アカで黒光りがしており、ドアはずれる寸前なのや開かないなど。車を降ると、すかさず「何が欲しい。オレが良い店を教えてやる。」「もっと良い所ある。おもしろいと教える。ついてこい」もう次



から次、ボン引きや物乞い、靴みがきなど、何やらうるさくて、しつこくて、ゆっくり見物するところではない。観光客は町にはいないようだ。ひとつ横町を曲ると、どこも貧民街である。いかにも商売女らしい女がずっと立っている。オカマもいる。ダンボールの家に住んでいる者。道に毛布で寝ている者も多い。なによりも恐ろしいのは音がなにもない。シタールやタンブラーの響きは空の上の上流



階級だけのものの様だ。唄声一つ、打音すらないのである。バラックから子供が出てきたと思ったら、その道の上にウンコをして、そのままいなくなった。ここには電気もガスもなく、犯罪も、特にかっぱらいが多いとのこと。カメラを出すすと大勢の子供たちが群がってきて石をぶつけられた。あわてて逃げた。角のタバコ屋が「カメラをあまり見せない方がいいよ」と注意してくれた。

一瞬僕が住んでいる中野の通りがすうっと目の中に浮んで消えた。

マーチングバンド

最新発売中

- ♪ 90 西部警察PartII テーマ
♪ 91 キャラバン
♪ 92 エル・クンバンチェロ
♪ 93 タンホイザー大行進曲
♪ 94 ウィリアム・テル

既刊

- 81 大脱走のマーチ
82 スマタナ 交響詩「モルダウ」
83 グレート・ジョイフル・マーチ
84 「アイダ」大行進曲
85 「くま割り人形」よりマーチ「コフスキー」
86 ビレッジ グリーン サンバ
87 グローリアス キング /レード
88 ビゼー「アルルの女」アラバントより
89 サタン イン ザ ナイト
90 グリーグ「ベルシエント」山の宮殿にてより
91 心の色



その17



午前10時、起きて歯をみがいていたら電話のベル。いそいで口をゆすぎ「モシモシ」。すると「あら、まちがえちゃった、ガチャン」。女性の声である。途中だったので又ハブラシを使う。ジリジリ、又電話だ。いそいで口をゆすぎ「モシモシ」。すると「また、へんなのが出たわ。ナニヨ、この電話。ガチャン」。まえと同じ女性の声だ。よほど、指が頭とはどうしても同じように動かない女性らしい。朝からオバケではあるまいし、好きで出たんではない。若い女性の声なので「何番におかけでしょうか、こちらは30△の20△□の山木です」ぐらい答えてやってもいい。それに一人ごとを言うなら電話を切ってから言う方がいい。電話も人間がかけるのだから、誰だって間違い電話の一度や二度はか

☆ け又かけられたおぼえのない方はあるまい。
☆ 又、ハブラシを使う。「ジリジリ」。いそいで口をゆすぎ「モシモシ」。すると「ボクです。今日昔の仲間が5人集まります。おひまなんでしょう。いや、わかっています。ひまです。これからゲームをやっ、勝ったら、ただで吞めます。では12時に千駄ヶ谷駅前です。ガチャン」。いくら相手が見えぬからといって、又ひま事も知ってたりして、これはケシカラン。声、音色から察するに、いつもの法政大学出の若衆にちがいない。そして、ゲームの挑戦だ。「ヨーシ!」。みんなニヤニヤして待っていた。これはなにかあるな? 僕はいつもGパンにスニーカー。若いとはいえないが年寄りだとは思ってない。あいまいな中間的な年令。年より若いといわれると、何か嬉しい感じがする。このあいまいさをテストするという。そのテストというのは、垂直跳び、水平横跳び、何とかドリブル、けん垂など、いろんな種目があり、それぞれ、何才ならこのぐらいは欲しいという基準が設けられていて、それを総合して、あなたの体力は何才程度という判定が下され、



☆ それをサカナに吞もうというのである。室内体育館に行ってみると、思ったより大勢の人達がいる、僕の順番の前は60才ぐらいのおじさんで、チスト前に掛声も勇ましくヨガ体操を、それを見てびっくり前に体をまげると楽々手のひらが床につき、足をのばして体をまげると額がベタリとつき、ネコみたいに柔らかく、そのありさまを見て不安になり、上には上がと思った。これは負けてはおれぬと最近にないハッスルぶりを示したのであった。テストの最後ではバツバツと倒れて、でもなんとか全種目をおえることができた。4人は3~5才ぐらい若く、1人だけ31才なのに40才と断定され、酒代も払うはめになった。かくして僕は8才年令より若い人の体力を持っていると判定され、ホッとすると同時に、なかなか悪くない気分ひたったのです。それからのタダ酒のうまかったこと。
☆ しかしその翌朝、ジリジリ。電話のベルで起こされた時は驚いた。体中の筋肉はカチカチに痛み、関節という関節ギンギンに曲がらず、いっぺんに80才ぐらいになってしまった。40才の人間がハッスルすれば1日だけ32才に若がるが、その翌日は80才のように自由がきかなく、自分の年波をすこし理解できた。ジリジリ、まだベルは鳴っているのだが、出られない。どうか間違い電話であってくれ!!

新刊案内

7月1日発行

バンド楽譜の総合カタログ

ご希望の方に無料でお送りいたします。当社までお葉書かお電話でご請求ください。

Table with columns for instrument type (吹奏楽, ポピュラー, クラシック, ダンスバンド), song title, and catalog number. Includes items like '原宿キッス', '聖母(マドンナ)たちのララバイ', '赤道小町ドキッ', etc.

10月号

1982

毎月1日発行
No. 22

バンド通信

ひとつひとつの音符に 真心をこめて 株式会社 ムジックエイト

1月31日朝7時、ホテルを出てデリー発の飛行機に乗り、2時間程でボンベイ空港に到着する。機内は僕等のほかは皆インド人で外国人の姿は一人も見ず、やたらシタールの音楽が鳴りっぱなしで少しうざりしてくる。その流れてくるテープには4曲しか録音されておらず、その繰り返しばかりだからだ。



ボンベイ空港には主催者側の人が3人出迎えてくれる。「荷物はこちらで運ぶ。空港の外に専用バスが来ているから乗って待て」とのこと。ボンベイは海に近いせいか、なんとなくデリーより陽気な感じがある。荷物も楽器もこのバスに積む事になり、だんだん後ろの席につめられ、ギューギューになる。ポーター達が、金が少ないと、係の人とケンカを始める。そのうち我々にライター（百円ライター）をくれと手を出してくる。やっと走り出そうとしたら、警官がくる。紙幣らしきものを与えた。「尋ねると」駐車禁止だと因縁をつけ平気で賄略を取る。適当にアルバイトのつもりだし、その方がスムーズに行くという。



空港を出て市内に入るまで砂浜

と道路がえんえん続く。マリン・ドライブと呼ぶそうだ。そういえば江の島あたりとにている。ビル街が続くと思うとバラック小屋が続く。人が群れているのはきまって映画館で、大衆娯楽としては一番だそうだ。今日は日曜日なのでとても満員だと。ちなみに、映画、雑誌、その他、インドではポルノは禁止だそうです。PRESIDENT Hotel に着いて昼食をすませ、(ビール23ルピー)一休み。この辺は高級住宅地で車を置いてある



その20 インドにて③

家も多い。テレビのアンテナも立っている。15時から会場でミキシングのチェックがあるという。会場はクリケットの競技場で、東京の後楽園球場と同じぐらい。中央にステージを作り、イスを並べ、観覧席は二等席。アメリカ人のミキサー、暑いので海パン一丁。僕等の出す音に答え、腕は良いようだ。真赤で、でっかい太陽が海の彼方に沈み、6時には暗くなってきた。L. Sankarを始め、Herbie Mann 5 (USA)、S. Grapelli 4 (France)、B. Thompson 5

(UK)、R. Reys 4 (Holland) (W. Germany) (Italy) (Yugoslavia) (Poland) と、ヨーロッパからの参加が多く、この日が最後日で、オーストラリアの Duo、ソ連の Trio、インドの J. Santan 5、そして New Herd (Japan) と続き、アンコールで幕がおりた。ソ連のベースマンが米国製のすばらしいアダッチマイク（初めて見たよ）を付けており、自分の楽器をぜひ使ってくれとわが日本のベースマンに貸してくれたり、それは楽しい1日でした。



とくに12時は過ぎ2月1日。ホテルに帰り、すぐ空港へ。キップを見せると、係官は許可がないからもう一度金を払えと。ここでもめにもめて、結局空席が出来たから乗っている。税関の検査員も荷物の中を見、「ライターくれ、ボールペンくれ」「だれがやるものか」やっと6時発の飛行機でカルカッタへ。さすがに眠く離陸したあと、トロトロとした。

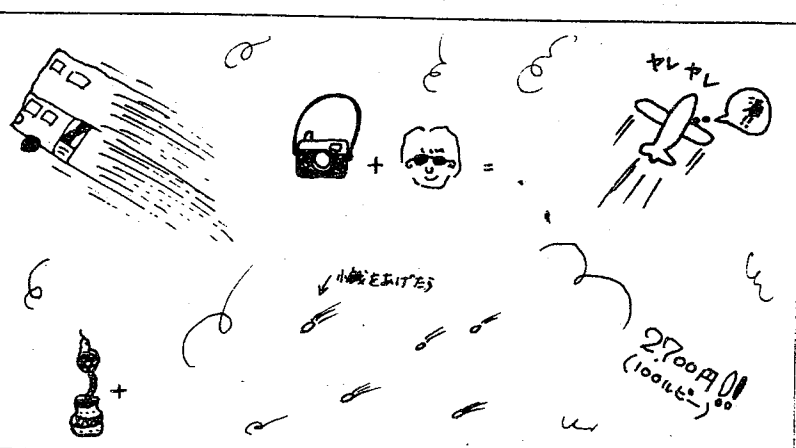
10時、カルカッタ着陸。日本を発つ前に、インドに長いた友人より手紙をいただき、その手紙に・ビクトリアルメモリアル博物館・ガンジス川・一番そうぞうしい都市なのでハイヤーの借り切りが安全、なるべく現地の人と一緒に。デリーやボンベイよりすごそう。



その19 インドにて②

石などぶつけられたので、タクシーをつかまえホテルへ。渋滞である、うるさく警笛を鳴らす。排気ガスの臭いが強い。二階だてのバスも人間を満載している。このバスをみていると、降りる客がいても、バスストップで完全に止まらない。徐行するぐらいで、飛び降りたり飛び乗ったり、転んだり、大変ぶっそうなシロモノである。

その合間をぬってようやくホテルに着いた。ロビーに入ると、みんなやられたらしく、予想外のインド感想である。T君は、後ろから追ってきた子供に靴にゴミをかけられ、その後靴みがきがついてみがかせろ……と。M君は、大道芸人風の三人に囲まれ、コブラに笛をふいて写真を撮らせ、100ルピーとられたり。3才ぐらいの女の子の乞食に小銭をやったら、浮浪児に囲まれツバをがけられたり。トイレを聞いて金をとられたり……。これがインドなのかと、想像していたよりもはるかに上流階級と下流との差があるのにただ驚くばかり。真白なターバン、原色ゆたかなサリーなどは、町並では到底見れず、瞑想にふける哲人のような顔立ちもなく、いろいろな色のターバンもうす汚れ生地もあまり上等なのはなく、スタ袋のようなものをぐるぐる巻きつけた



ものばかり。美しい女性も、ホテルか空港内で、チラリ、しか会えなかった。

皆で話をしているところに、デリーでの係りのH氏が現れた。H氏の話によると……。観光客が一人でカメラなどかまえているとすぐ人だかりがする。その中に暴力スリがまじっていて、いざ何かを盗むと、大通りの車の走る間を生命がけで抜けて逃げ、追いかけるんじゃまをする仲間がいて危なくて追いかけれぬ。お巡りとスリがしょっちゅう追いかけてくるが、大衆はがやがや言ってはやしたてるだけだそうで、お巡りも一応はスリを追うが、そのふりをするだけで、まず掴まえない。お礼参りがこわいからだ。そのお巡りもなかなかたちが悪いので気をつけよとのこと。そこへいくと、我が日本警察は、生真面目すぎてユウズウのきかぬお巡りさんもたまにはいるが、世界一と思わざるを得ない。

僕は、まれにみる食物、飲物の適応性が強い人間で、どんな土地へ行っても、たいがいの物はこなせる自信がある。特に辛党のことゆえ、酒と名のつくものがあればなおさらのこと。H氏と再び町に出る。H氏と一緒にだとスムーズに歩ける。市場へ行く。もの凄く汚れない。異様な臭気で、道端に一杯

屋台が出て、なんの肉か、連中がワイワイ言いながら手づかみで食べている。いかにも黴菌だらけ。酒は「ナイ」という。？。夜は招待で高級インド料理店で食べた。ここでも酒はナイ。今日は、インドでは酒の飲めない日（おえらいさんの命日かな？）だとのことである。客の全員が料理をジュースで、である。音もなく酒もなく。食事と共に甘い飲料水とは、なんととしても解せない。？。

インド第一夜がこれである。何もう悪いことしてないのに。ホテルの窓からみた夜空はすばらしく、日本でみるのとは違った色で、星も月も光っていた。今夜は湯豆腐で一ぱいやっている夢でもみて寝ようとベッドに入ったものの、お薬（おサケ）を飲んでいないためいらいらするばかり。いきなりモーニングコールのベルが鳴り、ボンベイにむかって出発。

やれやれ。

ミュージックエイト
バンド楽譜総合カタログ
★★★★★★

ご希望の方は、お近くの楽器店
又は、直接当社までTELかハ
ガキでお申し込み下さい。

★★★★★★
★★★★★★
★★★★★★

12月号

1982

No. 24

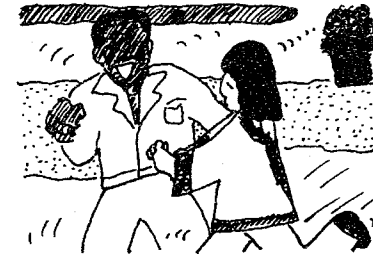
バンド通信

株式会社 ミュージックエイト
ひとつひとつの音符に 真心をこめて

福島、新潟、富山とコンサートツアーがあり、高岡が最後に解散。そして三日間の連休である。東京をたつ時に、それならば帰りは金沢にいて久しぶりに悪友の鈴木君を尋ね呑み語り一泊し、次は福井の悪友大平君を尋ねて甘えびや蟹などをおごらせて一夜呑み、岐阜にまわって悪友田中君を尋ね昔の女ぐせの悪さを奥さんにばらすとおどかして一盃おごらせて土産も分捕って帰ることにきめた。

コンサートも無事終わり高岡駅でメンバーと別れてすぐ、「山木さんですね、あっ、やっぱり山木さんだ」、突然声をかけられてふりむけば、人の良さそうな中年の市会議、いや町会議員風の紳士。

「49年、モンタレー・ジャズ・フェスティバル、見に来てたんで



すよ、はやー。あのステージはとても良かった、大いに感動しました。最後のマンテカでのディジー・ガレスピーやジェローム・リチャードソン、カール・ジャダ、モンゴ・サンタマリアたちとの合同演奏、もう涙がでえましたよ。そしてガレスピーと山木さんのシルバードダンス大いに愉快でしたよ、

はやー」「そうですか、いやぁ、あれは今でも夢ではないかと思っています。なにしろガレスピーのオーケストラをレコードで初めて聴いて感動し、これだと思ってフルバンドに入ったわけで、僕にとって神様だと思ってました。それが同じステージで演奏でき、ガレスピーと二人で踊るなんて」「そうですね、そうですね。はやー。山木さんに会えてうれしいで



その22
す。ま、ま、ともかく一杯呑みましょう。はやー」。相手は僕のファンだといひ、僕もけっしてきらいではありません。ステーション食堂、そして食堂車とついつい車中酒が入り、すすむが程に酔う程に市会議、いや町会議員さん益々興奮し上げん。「山木さんとお知り合いになれて本当にうれしい。よし、もうこうなったら、徹底的にやりましょう。金沢に着いたら呑み直しましょう。ジャズキチの友達集めます。皆バカみたいな奴ばかりで、そいつらと今夜はワァッといきましょう。はやー」。これではこちらの予定が狂いこれは

たまらない。「そうしたいのは山々なんですが、残念なことに明日は朝からレコーディングがあり、金沢で私用をすませて小松空港に直行して帰らなければ」。町議さんがっかりして『残念だなあ、せつかく…。それでは私の車で用をすまされ、小松へお送りしましょう』「ありがとうございます。でもお気持ちだけ、いやそんな、お気持ちだけ」『それで何時の飛行機で?』「それはまだ、いやいや」「航空券は?」「これから、いやいや」。それを聞くや、この人の良い町議さん一歩前へのりだし、「山木さん、航空券もまだ、今日は土曜日です。今からじゃとれません」「いやいや」又も一歩前へ。もう町議さん燃え上がり、「ヨシ。私が何とかしましょう。金沢、そして小松空港、全部任せなさい」「いやいや、ハッ?」。僕はますます困り、必死になって手をふるばかり。「もう充分ですよ、お気持ちだけで」。どうやらもう遅すぎたようです。金沢に着くや町議の車に押しこまれ、びっくりしている鈴木君を通りすぎ、空港の事務所を通過、あっという間に機内。

「どうも、ありがとうございます。おかげ様で無事に家に着きました……。電話のうしろで家の者があきれて、「バカだねえ、ウソはつくもんじゃないね」だった。

11月号

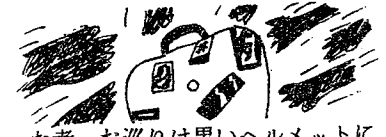
1982

No. 23

バンド通信

株式会社 ミュージックエイト
ひとつひとつの音符に 真心をこめて

友人の手紙を読んでいたのも、かなりの意気込みでカルカッタ空港を出る。そこいらにたむろしていた連中がワッと寄って来て、荷物を取ろうとする。オレに持たせろという。白い着物をゾロリと着た者。ランニングシャツや原色のシャツに腰巻きを短くまくりあげ



た者。お巡りは黒いヘルメットに半ズボン。よく見ると、デリーやボンベイで見た顔立ちのインド人とは少し違う。もっともインドには多数の種族がいるのであろう。カルカッタは真黒である。そして、少し紫がかった。

ハダシにクツにゾーリ履き。近代ビルとゴミゴミしたマーケット。その間を洪水の様に自動車がバスが市電が人間が牛が流れている。専用バスの窓から町中を見流していると、一見ひどく不調和なようでも、それらが自然に融け合っ



ている感じがする。いたる所、道を掘り起こしている。地下鉄の建設中だとのこと。ものすごいほこりである。見るとスコップで掘って、その土をカゴで運び、リヤカーで捨てに行くのです。

1時間程で会場に着き、Royal

Calcutta Golf Clubとあり、塵ひとつない小道。花壇に咲き競う赤や黄、ダイダイ色の花。それにはここは空気が澄んでいるので、一層鮮明。映画で見る英国の宮殿という感じ。インドにいるとは、どうしても思えない。ゴルフ場、乗馬、プールなど、大スポーツランドである。夜はこの庭でコンサートである。お客さんは、この地のお偉いさん達であろう。日本の

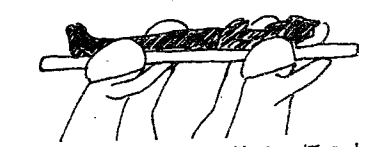


その21 インドにて④
商社の家族の方も聞きに来られた。それから土地の音楽家も集まり夜中まで、大ジャムセッションになり、持って来た即席ラーメン、ソバ、みそ汁、福神漬、梅干、日本茶などで大パーティとなった。

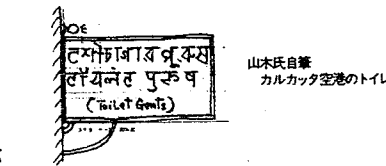
翌日は専用バスで観光案内して下さるという。ところが待てど暮せど来ない。やっと電話が通じたら忘れてた?! 午後になって、勝手に町へ行った。すごい人通りである。木かげには数人の乞食が寝ており、カラスが多く、幾羽も路上に降り立ってゴミをあさっている。彼らの群がった啼声はひびいてくる。後から「ゴンゴソブツ

ブツ」いいながら、戸板を担いだ男達が通り過ぎる。板の上でハダカのはお様が寝てる。寝てるのではなく死んでいるのです。男達が担ぎ、歩く度に老婆の頭が左右に大きく揺れている。

若者が話しかけてき、仲間がい

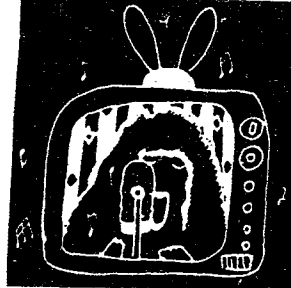


ま店にいると云う。彼は一軒の小汚ない宝石屋に連れていく。むろん仲間などいない。店に入らず振り切って歩く。若者は追いかけて来て、インド女欲しくないかと。もう煩わしくて「タクシー」一人が運ちゃんを呼び、一人がドアを開け乗り込むと、われがちに手を差し出してくる。ガンジス川を見てクラブに戻った。早速食堂に入りビールを呑むと、やや落着いてきた。色の黒い賢そうなボーイが寄って来て、インドはどうだと。「何も答えられない」これからは日本から多くを学ばなければとボーイがいう。



今、香港上空を過ぎ、三回目の機内食が出、その中にもり蕎麦がついており、たっぷりツユをつけてほうばったところである。

山木氏自筆
カルカッタ空港のトイレ



今日は、オーケストラの練習があり、そのあと夕方6時。恵比寿駅前の赤ちょうちんマーケットでモツ・シロ・ハツとホッピーで乾杯。30年前からこんな事を、ずうっと繰り返している。

あの頃は、芋焼酎のウメ割りであった。そしてカウンターの隅に置かれた、小さなラヂオからのかすれた音楽と、流しのアコ

ホッピーとは、それ自体はアルコール分のないビールのようなもので、これで焼酎を割って飲むと安く酔えるという飲みもの。

アオンとギターのと、それとえーと、えーと、それだけだった。前の呑み屋からの民謡。隣のカラオケ。二階のテレビの歌謡曲。そして、この店の有線放送のニューミュージック。ヘッドホーンをかけ、ジョッキをかたむけてる苦者等。昔、僕が屋台で焼酎を呑み

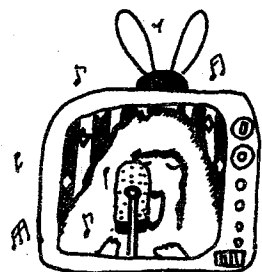
つれづれ 徒然音楽草

山木幸三郎 その23

出した頃は、ラヂオ・レコード・テープ・テレビなど、何一つ部屋の中にはなかった。それが、焼酎を呑んでいるうち、いつの間にかそれらの物が、全部普及して、連日連夜、様々な音楽番組が、スイッチをひねり、チャンネルを廻し、カートリッジをおとし、ボタンを

ソフトタッチするだけで、いつでも聞かれる様になった。

今、手元のFMガイドを開いても、朝の6時から、おはようミュージック、朝のポップス 音楽のさざなみ、昼の歌謡曲など、AM4時まで、ひしめきあっている。音楽が水道からドット流れ出



る様に。水道なら料金を取られるが、いわば只。NHKさえ払えば。たとえ払わなくても今の所、全部只。

始めの頃は、ラジオもテレビも大いに気に入って、聞いたり見たりしていたが、数年前からは、気に入らぬ事だらけになった。と

いうのも、気に入っていた番組が少しづつなくなって来たからである。おそらく少数の熱狂的なファンがいても、視聴率の数字で、どの番組も消えていくのだと思う。どの番組も、スポンサーの出す金により、只で供される民放の場合、その見返りのコマーシャルがどれだけ広く、聞かれているかが問題で、それだけがスポンサーのメリットだとすれば、当たり前だけど番組そのものは、これでいいのであろうか!

現実には、ラジオもテレビも番組は視聴率で評価され、数字の高いものが勝ち、スポンサーはそれを見て、「その様な番組」か、それに似たものを強いられるので、どの曲も同じ様な、本物と偽物と区別のつかない下らない番組ばかりになる。テレビ離れの若者も多いと聞く。さてよ!しかし、その視聴率の高い番組とは、煎じつめれば視聴者の責任ではないかな。

作る側から見れば聞いているみんなのご要望に、唯々添うべく作られているのだから?ラヂオだの、カセットだの、レコード、テレビだの、あり過ぎて、鳴りすぎるのでは。(焼酎がキイテキタ)

もし国会で一人、一日、一時間。それ以上聞いてはならん。此件、決まったら、その時、果たして、視聴率は。今ある番組は、いくつ残るのであろう。くだらない音楽番組は消えて、もうどうしても本物の番組ばかり。30分オーバー五百円の罰金。10時間もオーバーすると、3ヶ月の放送電波取り消し。カセット盗収録など、一生運転免許無しなどになったり(酔が廻り、キタキタ)。もうこれは音楽番組にとって、重大問題で、だから、おさえる力じゃなく、聞く側が中心に行なわれた時、はじめて良くなるのでは。(ワッ 酔った酔った)音楽を聞く事を自主規制(もうだめ、ネルワ)…!?

あけまして
おめでとう
ございます



今年もよい年でありますように

バンド楽譜 新刊案内

吹奏楽・ヒット&ヒットシリーズ
SH-20 抱きしめたい
SH-21 超時空要塞マクロス
...シュプール

今日も、またまた一升ビンをぶらさげて若い友、五人がやってきて酒盛りとなり、最近のジャズはつまらないね。酔酩だね。とワイワイガヤガヤ始まった。お銚子を持って室にもどると、M「もうどこへ入ってもカラオケ。やだねー。みっともないねー。ずうずうしいねー?」A「いや、スターになったみたいで中々いいもんだよ。」と反論。M「まだあるね。通勤電車やバスの中でのウォークマン。ギジャ、ギジャ勘にさわるね。第一あんなにでっかい音で聞いていたら、耳も悪くなるし、バカじゃないのか?」と興奮し話題が変わり、そしてI「今一番好きなレコードなんですか?」と聞いてきた。

一番好きなレコードとは、大変むずかしい質問である。僕にとってはレコードとはなんというか、前傾(前向きにのめり込む感じ)

を深めて、より遠く、前へ進もうとする一つの教材の様なものであり、ゆっくり鑑賞するというふうにはなれず、どうしても一枚といわれれば、今から30年ぐらい前に聞いた デイジィ・ガレスピ

つれづれ 徒然音楽草

山木幸三郎 その24

のフルバンドで、HR-134-EV(N・Y 1946年録音)。その時の感動。ショックはもう!今でもたまにかける時があるが、初心に帰ったようになり“ピクッ”とするね。皆はどんなのがM「私は、カインド・オブ・ブルー。マイル

ス・デヴィス。これ一番。マイルスってなんともいい知れぬ孤独の影があり、気魄にあふれているよ。すごい演奏だよ」H「おれはサムシン・エルス。キャノンボール・アダレイ。もうあの世の人だけど、



一曲目の枯葉。デヴィスがハーモン・ミュートでごく素直に吹きだす、透き通るような冷たさ、暖さ、それと対照的なアダレイの熱気と活気にあふれる演奏。ニューヨーク地下のジャズクラブ。思い出すなあ」M「おいおい、おまえい

つニューヨークへ行っただ」H「いや行ったことないけど雰囲気よ」K「ミーは、なんといってもロンドンハウス実況録音盤。ザ・トリオ。オスカー・ピーターソンや。バリバリ弾きまくり、のりまくり。もうそのスイング感。そのテクニック。それにベースのレイ・ブラウンがよるしい。急速テンポもなんか、楽しいがな。ライブによるよって、ますます盛り上がり、その気分はもうどうないしょ」I「ぼくは、インクレディブル・ジャズギター。ウェス・モンゴメリー。彼はピックを使わず、他のギターみたいな刺激的な音色でなく、まろやかな、厚みのある響き、そして、バカテクのオクターブ奏法による美しいフレーズ。横に彼女がいたらなあー」全員「おまえじゃムリムリ」A「おれは、そんなのよりなんたってモーニン。アー

ト・ブレイキだ。ブレイキの汗が見えるぞ。汗は彼等の黒い肌をつたって、スポットライトを浴びて光り、飛び散り、血涌き肉踊り、そのなんだ疲れを感じ。その疲れ快よい、快よい」

ジャズは人間くさく、その思いを、うわべを取り繕ったりしない。フリーに、そして直截にうたおうとする音楽で、ジャズのもつ背骨とは、この飾りのない率直さであると思う。一人一人がじつに个性的であり、皆それぞれの演奏が率直なだけに、好き嫌いが出るが、それだからこそ自分に合うレコードこそ一番であり、ジャズを聞く楽しさは、そこにあると思う。そのどれもが、はじき出す躍動的なリズム。率直さ。火照り。ジャズには、しなやかではあるが、強い背骨が一本通っていなければ!なんてだいたい酔ってきたかな?

投稿大歓迎!

バンド通信では、皆様のお声を大募集です。ザ・バンドでも、私の吹奏楽指導法でも、ひとりごとでも、ドシドシご応募ください。

宛先は
〒154 東京都世田谷区
太子堂3-27-6
株式会社 エイト社
です。



採用分には粗品進呈!

バンド 楽譜

「こないだね、新宿のアノ店に行ったらね、むこうの連中と日本のプレイヤーのジャム・セッションを、たまたま聞くことができたんだよ。それが、簡単に「ブルースをやろう」と言って始めたけど、あれ、どうしてああすぐやれるのかな？」

「うん、それはブルースの約束事を知っているからすぐ出来るんだ。ジャズの曲には、ある形をもったものがたくさんあって、まず1コーラスの種類について述べる。オホン」

「コラ、いばるな」

「『ムスティ』、知ってるだろ。この曲は、A+A+B+A（各8小節）で1コーラスで、Aで一区切りして、次のAで繰り返し、Bでは別のモチーフで進行して、終わりのAで初めのメロディーを繰り返す。この形、多いよ。..

次はご存じ、『スター・ダスト』。これはA+B+A+C（各8小節）の形式で、これの特徴は大きくA+B二つの組み合わせと考えると、その16小節の繰り返しで出来ている。したがって同じメロディーが

つれづれ 徒然音楽草

山木幸三郎 その25

二度出てくる。『サマー・タイム』や『いそしぎ』がいい例で、それにこの形式とよく似たもので、これの半分の感じがするものも多い。『ワーク・ソング』などがそうで、つまりはA+B（各8小節）の繰り返しだね。

こういったように、ジャズにはいろんな形の曲があるが、その中でも特に特徴的なものが、なんといってもブルースである。普通ブルースというと、ダンスのスローテンポのことだったりしてるけど、



『夜霧のブルース』なんてのは関係ないね」

「こりゃ、バカにするな」

「ブルースの形式は、かりにA+B+C（各4小節）全部で12小節から成っていて、ジャズの最も特徴的な、そして重要な基本形で

あるのでアル。又、A+A+A（各4小節）、すなわち4小節づつ同じメロディーを繰り返して作る。『Cジャム・ブルース』、『ワン・オクロック・ジャンプ』、『バグス・グルーヴ』などがそうだね。

こうした風に分けてみると、ブルースが大体どんな形式の曲であるか、レコードを聞いても少しはおわかりかな。もちろん以上はほんの一例にすぎなくて、ほら、『ビギン・ザ・ビギン』や『キャラヴァン』みたいに、変わった形のものいくらでもあるがね」

「うん、そういわれでみると、少しわかったような気がするわ。しかし、今おっしゃられたのは小節の数とかナンとかで、それだけではすぐプレイに入ることは出来ないと思うがね？」

「今いったのはメロディー、ラインのことで、つまり各小節の中

に含まれているハーモニーが問題だね。だから、ブルースが12小節から成ることと、この12小節内にどういふハーモニーがついているかだな。これがまた決まっているから面白い。もちろんこれは大きな約束事だけど、あなた、コード知ってる？」

「『C』はド・ミ・ソぐらいのこと、ご存じでありますよ」

「よかった。ジャズの醍醐味はブルース。そのコード進行は、初めの4小節が『C』、5~6小節目は必ず『F』になって、7小節目に『C』に戻る。これは長調でも短調でも同じで、9~10小節目は『D』~『G』、11~12小節目はまた元にもどる。その上にブルースは、ブルー・ノートといって、長調なのに短調的な味わいをもった短3度、短7度、減5度などをたくさん使う。

これが基本だね。これだけ知っておけば、初めて会ったプレイヤーとでも自由に演奏できるわけだ。おわかりかな」

「なんだ、それだけのことか」

「そうカンタンにおっしゃられると困るけど、これを基にして自分の感情を音に現わすわけだね。.....なんて僕も分かったようなことを言っているけど、よく言うだろう。『ブルースに始まりブルースに終わる』と。だから、いくら勉強しても、まだまだ知らないことがたくさんあるし、これからは色々なやり方が出てくるだろうね」

「そうだよ。じゃ、早くお帰りになって、また勉強してくれよ、ね」

「ハイ、そうします」



今日は法政大学のコンサートに出かけた。ここのオケとはもう十年以上のお付き合いで、今までに書いたスコアには、一つ一つ思い出があり、懐かしいものばかりです。「至上の愛」や「ジブラルタル」、それに Freedom Jazz Dance。昭和四十年代の後半はフリージャズが主でした。五十年代に入って、ステイヴィー・ワンダーの「ハイアークラウンド」、ウディー・ショアの「ザ・ムントレイン」などロック系のジャズ、そしてサンボソング。Legend of One Eyed Sailor とチック・コリアやチャック・マンジョーネとそのフュージョン。その時々いろいろな出来事やOBの人たちの顔が浮かんできます。

16時、コンサート会場に入る。今年はN・O・Singers（男1、女2）がゲストで、リハーサル真っ最中。ものすごいボリュームである？ たまたまのものではない。

ここ数年というものの、どこかのコンサートへ行っても、こういう状態のままで聞かされることもあり、様々な音楽の区別もできないミキサーの多いことよ。野球の応援じゃあるまいに、音が大きければ良いと思っているのか。ただ大きい

つれづれ 徒然音楽草

山木幸三郎 その26

だけで、バランスもなにもあったものではない。バスドラム、ウッドベース、ピアノ、これらの音がブラスセクションより大きいのである。コーラスも声がバカでかい。歌詞も何を唄っているのか不鮮明、バランスが悪いためハモらず。ミキサーの手順を見ている

と、耳ではなく目が主体でメーターばかり見ていて、針の振れが小さいとツマミを上げ大きいと下げている。こんなことをやられたんでは、どんな演奏もおかしくなる。すなわちバンドの方がせっかくピアノシモで吹いているのに、ツマ



ミを上げて大きく聞かせ、そのあとトゥッティでドカンと大きくなると、あわててツマミを下げて振れる調節ばかり見ている。ギャクだよギャク。ピアノシモになったら下げ、ホルテシモになったら上げてくれなくては。すばらしい機材は結構だが、それを扱う方が機

材に負けてしまって、機材にあやつられているのでは？

ステージに上がってみると、メンバーたちも、ミキサーにつられてバランスがつかめなくなっている。

バンドは「ボーカルのモニターが大きいので、もっと大きく吹かなければいけないのかな？」

コーラスはコーラスで「バックのモニターが大きいので、だんだん唄じゃなく、サケビになっちゃって？」

あげくに「こうなったら何をたよりに？」となってしまう。ことは明白。まずは音響さんと話し合っ、うちのバンドは、こうで、こういう音にして出して下さい」と注文を出しておねがいし、そして各々、会場の大小など体に響く形がみな違うので、それを早く感じ取り、そして今までやってきたバランスをこわさぬように注意し合って吹くようにすればいい

のである。

この日も、それからすぐミキサーさんに説明したら、「じゃーなにかい、古いスタイルでやりたいてわけか」という返事があった。もうこうなったら、学生とてもミキサーさんにナメられないで注文に注文をつけて、丁度いいバランスになったところで「もう、このままで絶対ツマミを動かさないで下さい」と、見張りをつけて演奏は無事に.....

僕の知っているミキサーの方で、もうすばらしいセンスで、演奏をより以上に盛り上げてくれる人がいます。最近会わないので問うてみたら、カラヤンが連れて行ってしまったとのこと。ミキサーさんとは仲良くやりたいですね。



エイト社出版物のご紹介

ラッパと私と子供たち

岩崎 弘著 定価 980円

小学校音楽教育の第一人者が語る。音楽とラッパを通して大きく成長していった子供たちと教師のふれ合いの記。事実の感動をあなたに。

わんぱくマーチの響く町 一町ぐるみスクールバンド

エイト社編 定価1200円

出来ん子ばかりを集めて、町ぐるみのスクールバンドを育てた熱血教師の姿を通して、人間の可能性を探る、教育の現場からシリーズ第一弾！

鍵盤ハーモニカとリズムの指導

エイト社編 定価1200円

幼児~低学年の音楽教育に一番大切なリズムに焦点をあてたやさしい楽しい指導書。全19曲の合奏曲集、試奏シートレコード付き。

一年のうちで、いつが一番好きかと問われれば、それは夏ですと即座に答えていましたが、それがここ数年からいつの間にか変わってきたように思う。

死んだ親父が水泳が得意で、小さい時から遊びに連れていってくれるのが夏の海だったせいか、いまだに夏の海には大変魅力があります。無精のせいか、冬は服装の仕度がどうもオックウで(靴下やマフラーや手袋やetc)、人工暖房が体質にあわない。夏なれば、

それかあらぬか、どこの屋外で行なうサマー・ジャズコンサートも雨が降りだし、雷が鳴りだしてサンザンな目にあうし、乗る予定の飛行機はみな欠航するし、新幹線も運行とりやめになるし、駅の待合室も人と荷物でイッパイだし、やっとこのことベンチにすわり、キオスクで買いこんだワンカップをヤケにあおりながら出発を待つばかり、といったアリサマ。

そして台風と聞くと忘れることができません。昭和28年の夏、米

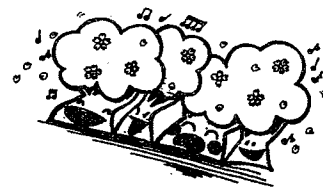
ンの故障で飛び立つ見こみなしのこと。びっくりして、周りを見まわしたら、知らない人ばかり。あわてて受話器をとり、家に、事務所に、友達に電話をかけたら、どれも「ただいま、この番号は使われておりません。もう一度、番号を確かめておかけください」とのこと。もう処置なし。それからナンと一週間、まだどこにも連絡がとれず、何もできない。かてて加えて、飛行機の欠航が8日、9日、10日、11日と引き続く。もう頭がぼーっとして少しづつおかしくなってきた。それで、ただもう毎日、飛行場の塔乗口まで行って見る。が、欠航がまだ続く。別便はどんどん出発する。

そんなある日、別便に乗る若者が、見送りにきた彼女の手帳に自分の住所を書いている。何気なく覗いてみると、ナンと僕の郵便番号と住所と姓が、そっくりそのまま若者のものではないか？！

そして彼女「あなたのパパ、わたしたちの結婚、許して下さいませんか？」

すると若者「いまのパパは義理のパパでね。実のパパは3年前の台風の時、新幹線の列車事故で死んでしまったのさ」

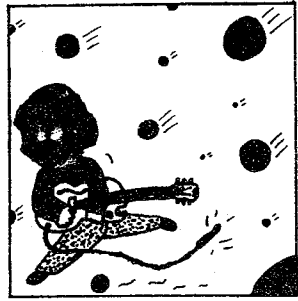
……「山木さん！寝言なんか言っただけで、泣いたりしないで、早く乗って下さい。新幹線が発車しますよ！山木さん、山木さん！」



つれづれ 徒然音楽草

その28

山木幸三郎



パンツとシャツだけですむし、暑*軍のキャンプ慰問で九州へ行ったければ水に飛びこめばOKである。

季節の好みが変わってきたと思うのは、冬の寒いときにナベをつついて熱燗で一ぱい呑むうまさや、春になって辺りが緑音に生まれかわり、花の下で一ぱいきこしめす酒のうまさのせいばかりではなさそうで、夏の季節そのものが変わってきたような気がしてなりません。

梅雨に入っても雨は降らず、ツユがあけたとたん台風に見舞われて、各地に大変な被害が出るし、八月に入ってもこれはという夏の日は一日もなくて、とうとう海にもいけず、景気のワルさも手伝ってヴァカンスどころか、年々夏らしい天気失われていくようです。

時に、ものすごい台風の襲来にあい、寝ずに一夜を明かしましたが、あのときのずぶぬれの服の感触、そして友達が濁流にのまれて帰らぬ人となったとの報せは、忘れることができません。以来、台風のニュースを聞いたたびに、ひとごととは思えなくなった。ナンとかは「忘れたころにやってくる」どころか、最近ではしょっちゅうで、これには、あまりにも科学が進歩して大自然の法則まで変えてしまったような不安さを感じるし、また人間の思いあがりに対する天の罰音では、とも思う。

しばらくして気がつく小さな飛行機で小さな飛行場に着陸しており、その直後に飛行機がエンジ

今でも音が聞こえて、ももが引っぱられるのです。聞こえると云ったけど、聞こえるということは耳に入ってくる音のことで、そうではなくて、左耳のうしろ5センチぐらい寄ったところに発音体のわからない、ただ渦が巻いているような振動が聞こえて(感じてかな?)くるのです。と同時に、右足のもの裏側の一点が磁石で吸われるように、うしろに引っぱられた感じになるのです。こうなる

逃げるとは、なんとツメタイ方と、彼女とはそれっきりになってしまった。テレビ局が出来て間もない頃、TBSの生番組中にこれが起こり、カメラと歌手の間を横切ってスタジオを飛び出し、グラリと来た(震度3)。スポンサーにはおこられたが、実際に揺れが大きかった為、たいしたトラブルにならず、かえって不思議がられてしまった。NHKでも録音中に飛び出し、この時は取り直しが出

飛び出した後の揺れの大小は、いまだにわかりません。無感の時もあります。気象庁の発表する震度も、ほとんど揺れを感じないのに「震度3」、かなりグラッと来たのに「震度0」などと発表があります。気象庁の山川地震課長の話で初めて知りましたが、震度は測定器で測っているのではなく、経験豊かな係官が体感で出している、東京の場合は大手町にある気象庁舎で係官が「本棚の揺れ」や「洗面器の水面の波立ち」を参考に判断するそうです。これは、世界中のどこの国でも同じ体感で、だそうです。そして、「江戸時代の記録や文献をもとに現在の地震との規模を比較するにしても、同じ体感だからこそ出来る。又、震度に関心を持たれるのも、誰でも測れるからだと思う。係官はそのカンを鋭くしているわけで、原始的な方法で測るからこそ震度なのだ」と話しています。

でも、江戸時代の木造家屋の中で感じた揺れ方と、今の近代ビルの耐震構造の中で「本棚」や「洗面器」類の様子で測る揺れ方と、比較出来るものでしょうかね？それよりも、「いつ、どこで」というナゾを予測していただくなくては。地震の時、外へ飛び出すのは「危険だよ」と云われますが、じっとしていられないのです。それが起こるのを予測出来れば、皆さんに知らせるのが。そして今、もう一度わが家の防災体制の点検です。

つれづれ 徒然音楽草

その27

山木幸三郎



と口がきけなくなり、じっとしていることが出来ず、どこにいても外へ飛び出してしまいます。そして大なり小なりの揺れを感じるのです。

小学校に入ってからも授業中、急に何回か教室から飛び出して皆をビ・クリさせ、先生にしかられました。高校に入っても、バンドマンになっても、いま現在も、夜中でも睡眠中でも、それが聞こえてくると飛び出してしまいます。

20才の時に、やっとめざす彼女とデートが出来て、喫茶店で楽しく語っている時にこれが起こり、外に飛び出し、グラリと来た(震度1)。店へ戻ると、「ひとりで

来たので、「フシギ、フシギ」と笑ってすごしてしまい、53年にチリーのサンチャゴへ行った時も屋食中にこれが起こり、飛び出してしまい、「地球の裏側(日本からみて)に来てねー」と皆に感心されてしまいました。但し、それが起きた時、なぜ知らせないかとおこられるが、前にも云ったように、口がきけなくなるので、どうにもなりません。なぜ口がきけなくなるのかと云われても、なぜそうなるのかわからないのです。

昨年末からこれが相次いで起こりますが、高層ビルや地下鉄や便所の最中や入浴中などでも飛び出すには、我ながらこまります。

バンド楽譜 新刊案内

ジャズバンド・ヒット&ヒットシリーズ	JH-21	天国のキッス (松田聖子)
	JH-22	探偵物語 (高橋九ひろ子)
小学校・ドレミファ器楽(KG)	KG-23	探偵物語 (高橋九ひろ子)

吹奏楽・ヒット&ヒットシリーズ

SH-43	キャプテン 誰かができる (同名TV番組主題歌)
SH-44	組のひと (ラッツ&スター)
SH-45	夏色のナンシー (早見優)
SH-46	探偵物語 (高橋九ひろ子)
SH-47	シャワーな気分 (田原俊彦)
SH-48	だいじょうぶマイフレンド (同名映画主題歌)

バンド楽譜 新刊案内

吹奏楽・ヒット&ヒットシリーズ	SH-38	飛翔 (クラッシュジャージーより)
	SH-39	Sing a Song (松山千恵)
	SH-40	天国のキッス (松田聖子)
	SH-41	君に胸キュン(YMO)
	SH-42	真夏の一秒 (近藤真彦)

クラシックシリーズ(YC)

YC-26 タンホイザー大行進曲 (ワーグナー)

ジャズバンド・ヒット&ヒットシリーズ

JH-19	1/2の神話 (中森明美)
JH-20	真夏の一秒 (近藤真彦)
KG-21	母さんのうた (愛唱歌)
KG-22	天国のキッス (松田聖子)

小学校・ドレミファ器楽(KG)

さまざまの移り変わりのなかで、人はそれぞれ一年を感じると思います。梅雨に入り、気候の方も少々蒸し暑くなり、そして、それをスカッとさせる祭りの出番。ああもう一年経ってしまったのかと。各地で夏祭りが盛大に催されるこの頃と感じます。「いや、僕は日本シリーズの時だね」とプロ野球ファン。「私は、カレハの舞う頃」と、もてない男。日本は四季の変化に富み、風物や、いろんな行事が絶え間なくやってきます。ずっとお粥をつけて吞んでいたのが、だいたいなすきな豆が出はじめ、今



んでいて、心配したお祖母さんからいつもしかられていたが、もうわくわくして楽しい楽しい祭でありました。年々祭りはさかんになってきているが、これはノスタルジート、きめつけるのはたいへんなあやまりでハレの日の興奮を祭に求めるのは昔からつづいてきた人間の自然の情であり、その地方に必要なして生まれた庶民の儀式であり、そして子供や若者の社会参加の一辺です。今では女も、みこしをかつぐ時代となりましたが、子供の頃の祭りと思

モロコシ。焼ソバがジュウジュウと音をたてた屋台が並び、さっそく小さな子供たちにまじって金魚すくいを大きいのをねらったらすぐ紙がやぶれてうまくいかない。それでもビニール袋の中に五匹の赤い金魚。目の高さにもちあげてながめながら、みこしの掛け声を追う。当団地の皆さんと友達になり、仲間に入り楽しく感じました。団地といえば若い世代が中心で子供も多い、しかし土地の神社の氏子ではないので祭りを楽しむ機会がない。そこで樽みこしの登場となり、団地の谷間に響く元気な子供たちの掛け声に祭りのスコアーを見たように思う。子供の頃お祖母さんから、祭りに大事な「宵宮」を大切にすることだ。それは祭りの前夜、神さまと人間が一緒になって祈願する夜です。それを忘れた祭りは、どんな威勢がよくてもただのショーにすぎないのでは。商業主義になり観光化しすぎればかばかしく騒ぎ立てることを、またお祭り騒ぎともいう。

つれづれ 徒然音楽草

その30

山木幸三郎



日はつめたいビールにしようかと、こちらの方で感じるのかも？。子供の頃は中央区の月島に住んでいて、アセチレン灯の灰色っぽいにおいあたり一面にたなびき、ボンセンベイやイカ焼。お金を持ってない僕等子供たちとしては、たいへんな魅力で、その時一緒に行った兄に、僕はバナナが食べたくなって買ってくれとせがんだら「上の兄さんはバナナを食べて死んだぞ、おまえも死ぬぞ」と、おどかされました。帰るころは真っ暗になっていて、こうもりがすぐくと

一杯やっていると、子供たちの「ワッショイ」の掛け声が聞えてきました。ここはコンクリートの建物が林立する団地です。小学生が担ぐみこしが練り歩き、幼い子供たちがその後でゾロゾロ。みこしは子供会を指導するお母さんたちが作った素朴な樽製であるが、アニメーションの主人たちのプラスチックのお面がたくさんはりつけてありなかなかユニークです。そして団地の若者たちが作った水中花の花屋。カルメ焼屋。わた菓子売り。こうばい香りをさせてトウ

P・R！ 吹奏楽と11人の先生 金賞受賞校の素顔

「金賞受賞校って僕たちとどこがどう違うんだろう？」
「どんな練習方法をしているのかな？」
そんな素朴な疑問にお答えします。
例えば、四分音符練習法で美しい音色を追求した先生。独自の体操で体力強化をはかった先生。プロのジャズバンドでの経験を指導にいかしている先生。
11人の先生方の指導の、歴史とコツをご紹介します。

自己診断表
年別練習スケジュール
4月、1年生基礎練習
5月、2年生基礎練習
6月、定期演奏会
エイト社刊 B6判 256頁 定価 1000円

寺山修司さんが亡くなった。うそのようです。歌人、詩人、演出家、天井棧敷の主宰者……と、その死を告げるテレビや新聞は幾つもの肩書をならべていました。寺山さんの存在を考えると到底これらの肩書には収まらない過剰さ

つれづれ 徒然音楽草

その29

山木幸三郎



ろう。いろんな人の詞に曲をつけたりしていたが、寺山さんの詞を初めてよんだ時、体中に熱い感じが走りぬけて、唄というものに対する寺山さんのなめりこみ方のすごさを感じられました。何よりもまず浅川マキの中にあるいいものの見つけ方、つまり人に対する興味のもち方、そして好奇心を非常に大事にしていた人でした。「かもめ」「ふしあわせを言う名の猫」「愛さないの愛せないの」「私が娼婦になったら」等、作曲

していくうちに、寺山さんはこれはおもしろいと言って作った相手をおもって、その事が僕なんか仕事をしていて大変はげまされ終わってからの幸せな気持ちがのりまじりました。寺山さんはそういう人でした。ジャズに対する接し方もするどく、たいへんなもので、いつ、どこであれだけ聞いたりしているのか、不思議でなりません。「私はいっぱしのジャズ通気取りで、『キーヨ』あたりをやってくるとあられてから何年経ったであ

クリスマス」「十三日の金曜日のブルース」「ロンググッドバイ」と作曲していく合間にも、寺山さんはネフローゼ（体に水がたまり朝潮ぐらいにむくむ病気）で四年間も入院。奇跡的ななおり、めずらしいと言うので、退院してから何回も病院へ呼び出され、同じ病気の患者の励ましに病室廻りをやらされた話。ボクシング、競馬のおもしろさ、寿司屋のマサとトルコのモモちゃんの子供の想像など。そして話そのもののある種の猥雑さ、いかがわしさ、見世物性や土俗性不定形。それらが、唄から短歌、前衛演劇までを両立させてしまうのです。少し早口でやわらかく、東北弁が消えないで整くのこっているトーン。よく聞きわけられない時もあったが、そのしゃべり方に熱が入ってくると、ことばに対しては異和感を おぼえながらも、やっぱり興奮してくることはたしかで、その興奮の仕方は、古いブルースを唄っている黒人のレコードを聴いている時、とてもつかみにくいものを感じるように、丁度それと同じように東北の遠い土地のことを想像して、そこにある風習などが訛り言葉と結びついて黒人のブルースの体臭とどこか似たようなものをいつも感じるのです。「うたを忘れてひとり死にに帰る あおい あおい あおいふるさとの 山河は今も変わる事なし」 — <山河ありき>より。

いよいよ発売！ 吹奏楽ファンの皆様へ！ ★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

吹奏楽と11人の先生 金賞受賞校の素顔

「金賞受賞校って僕たちとどこがどう違うんだろう？」
「どんな練習方法をしているのかな？」
そんな素朴な疑問にお答えします。
例えば、四分音符練習法で美しい音色を追求した先生。独自の体操で体力強化をはかった先生。プロのジャズバンドでの経験を指導にいかしている先生。
11人の先生方の指導の、歴史とコツをご紹介します。



ミュージックエイトにて取り扱っています。

エイト社刊
B6判 256頁
定価 1000円

「こんにちわ、鈴木です。先日は遠くまで来ていただいた、どうもありがとうございます。ビッグバンド連盟の皆さん大変よろこんで、勉強になったと云ってます。これ、少しですが、田舎でとれた里芋で」

「これはどうも。さあ上がって早速それで一杯やろう。こないだのクリニックは、こちらまでごく楽しかったよ。かなり高度な質問が出たり、演奏する時の気持ちだとか心構えとか精神的な話も出たり、ステージであがらない為にはどうしたら……というような話まで飛びだして、皆さんで大笑いし

採れた野菜や穀物です。庭先でもぎとったカキの実でありイチジクであり、おばあちゃんが丹精こめて作ったカゴやザルで」

「そうだね。野菜やくだもののもつ自然の色、香りがブンブンだよ。東京で見る色とは全然ちがうもんね」

「東京のは、油をぬってツヤを出したり、クスリで色をつけたりして」

「そういえばリンゴでもピカピカ光ってる。あれは毒の加わったものなんだね。ところが朝市で特に、びっしり敷きつめられた杉の葉っぱの上にはずらりと並べられた

で。そして、まずはご飯よりパンを、魚より肉をとて食事が洋風化されて、季節や住んでいる所の制約もなくなって美味しいものが食べられるようになったし、その需要に見合った生産、冷凍食品、輸送ルート、輸入も盛んになって、「誰でも、いつでも、どこでも」になったね」

「そうですね。なんでも手軽に手にできると喜びもなく、それに季節感、その土地ならではの味も薄れて、おまけに遠隔地方からの輸送でコスト高になって価格もハネ上がりますね。これはもう、マイカーを持って交通マヒにいらだつと同じで、豊かさの中の新現代病ですね」

「もう一度、20年前の食卓を思い出して、何がふえて、何を失くしたか? といえば」

「失くなったのは、みそ汁、野菜の煮物に焼魚。それにコロッケですか」

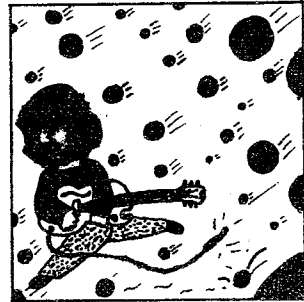
「そんなもんだね」「ですね」

「変な話になってきたね。あの朝市でなにが良かったって、老婆の顔。『自家用に作ったんだけど、作りすぎちゃったもんだから』と、納豆のツトを並べている。自家製のいいねー、これは。それから、キノコを並べていた爺さん。自分で探して、自分だけが“山奥の城”から採ってきたキノコにちがいない。この爺さんの得意満面の顔付きも、すごくいいんだね。いつか、ああいう顔して演奏できないものかなー。……さあ、呑んで、呑んで。実にいい。秋は優しい季節だなあー」

つれづれ徒然音楽草

その32

山木幸三郎



て。そしてね、次の朝が良かったね」

「朝って、何かあったんですか?」

「何年ぶりかで本物を見たんだよ。ほら、最近増えてきた観光向けの朝市ではなくて、その土地の人々だけの朝市に、なんでかわからないが、もう嬉しくて、胸がドキドキして、夢中で見て回ったけど、その土地の毎日の暮らしと密着した品々がずらーっと並んでいてね」

「ああ、朝市ですか。あれはいいですよ。東京とちがって、どこそこから仕入れてきた物じゃなく、みんな自分の畑や山や川から

いろいろの形をしたキノコがとても見事だね。ほかの季節には見られない華やかさで、秋だなあって感じがすごくしたんだね」

「そうですね、東京じゃ味覚の秋なんて感じ、薄いですね。いつ頃からこんなことになったんでしょうかね?」

「戦後の20~25年代は、飢餓、空腹をいやしささえすれば……からスタートして、30年頃には、なんとか腹一杯になって、30年代後半から高度成長期に入って、食生活の分野も変化しはじめたね。その変化は、作る側と食べる側のどちらにあったのか。それは“鶏と卵”

P・R!

吹奏楽と11人の先生

あなたはお読みになりましたか?

—金賞受賞校の素顔—

〇見出しをいくつかピックアップしてみると……

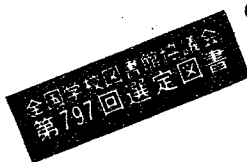
「ひどすぎるバンドを日本一にしよう」と

「厳しいだけでは息づまる」

「ムリ・ムラ・ムダのない練習」

「チームづくりはリーダーづくり」

エイト社刊
B6判 256頁
定価 1000円



仕事を終えて上野駅に着きました。7月10日といえば四万六千日という日であり、この日が浅草の観音さまの功德日にあたります。その由来は信仰のあつかった祖母さんに聞いても知らないといひます。とにかくこの日に浅草寺へ参詣すると四万六千日分の、つまり127年分の参詣に相当する御利益があるというわけで、東京で生まれ育った僕は祖母さんにつれられてよくお詣りに。その当時もたくさんの人で「はなれると、マイゴになるよ。人さらいにつれていか

入った事。子供の頃は夏がちかづいて四万六千日がくるとうれしかったものです。そしてこの日はほろずき市でもあって、境内には、ぎっしりと店が立ち並び「旦那! 一鉢どうぞ」と景気よい声があちこちでかかっていたりしていました。今日は十何年ぶりか上野駅から四万六千日へ向かいます。例年なら浴衣姿がびっぴりのほろずき市。ところが気象庁は、関東甲信地方に低温情報を発表、三陸沖にある高気圧が同地方に冷たい空気を送り込んでいたため東京では最高



思います。それもないわけではありませんが、その事より、浅草の六区の盛り場へくると観音さまを中心に仲見世や映画街や広い盛り場には車輛が入れない、したがって、赤や青の信号に人が規制されることなくゆっくり時間が過ぎていくのをたのしむ事が出来るからで、今こそ歩行者天国なるものがあちこちにありますが浅草が元祖本家であります。花屋敷を通過してうらから境内に入ります。ヨシズ張りの露店には赤く色づいたホオズキと風鈴の音がコントラストよく美しく。参拝者にまじり、百円のお賽銭で御利益あります様とたくさん願事をいい、三角形の雷除の御守を五百円で買い、おみくじを引いてると、とつぜんお経が響きわたり。それに何万人の参拝者の祈り。本堂へ上り降りる足音。右から聞えるほろずき市のかけ声。左から遊園地のスピーカーから流れる艶歌。うしろの屋台からのカラオケ。ヤキソバ屋の音。それら縁日全体から出る音が和音になり、大パノラマ音楽としてその力強い音。この行事をおこなうことに浅草の存在をまもり、これをよろこびにして今日人々が浅草へあつまっているのでは。観音さまの境内で音を観たような気がしました。

つれづれ徒然音楽草

その31

山木幸三郎



れちゃうよ」といわれ、祖母さんのたもとをしっかりとつかんでついていったものです。思い出す事は、たいへん暑く途中でムギワラ帽子を買ってかぶせられた事。氷と書いた旗がヒラヒラ、ガラスのスタレがかかり、ウェアースのようなもので出来たマルイものに入れたアイスクリームや、足がついた平べったい安物のガラスコップに氷をカンナで削った山盛りに紅いシロップをかけた氷イチゴ、お粗末なブリキ製の、などと氷水店に

気温が平年より十度も低いといひます。そして雨がふってきました。それにもかかわらず今年の日曜日とかさなり相当な人出で、浅草駅より仲見世通りに向かいましたがあまりの人ごみでそこを通りすごし、国際劇場のある通りを右に曲って小供の頃におぼえている名残りの店々の前を通り六区の盛り場へ入ります。子供の頃からずーっと、ここへくると一種特別な気持ちになってしまいます。それはただのなつかしさだけではない様に

P・R!

吹奏楽と11人の先生

金賞受賞校の素顔

自己診断表

「金賞受賞校って僕たちとどこが違うんだろう?」

「どんな練習方法をしているのかな?」

そんな素朴な疑問にお答えします。

例えば、四分音符練習法で美しい音色を追求した先生。独自の体操で体力強化をはかった先生。プロのジャズバンドでの経験を指導にいかしている先生。

11人の先生方の指導の、歴史とコツをご紹介します。

年次	1	2	3	4	5	6
4月	1年生新編指導員	吹奏楽部員	吹奏楽部員	吹奏楽部員	吹奏楽部員	吹奏楽部員
5月	吹奏楽部員	吹奏楽部員	吹奏楽部員	吹奏楽部員	吹奏楽部員	吹奏楽部員
6月	吹奏楽部員	吹奏楽部員	吹奏楽部員	吹奏楽部員	吹奏楽部員	吹奏楽部員

エイト社刊
B6判 256頁
定価 1000円

58. 10. 28. P M 4 : 30. 東横線 綱島駅を降りてしばらくいくと、真赤な柿を小鳥がついばんでいました。その自然な風景はまるで一枚の画を見ているようです。10分程で目的地に着きました。松下通信綱島工場内和室会場の入口に「第13回箏曲演奏会」と張り紙され、中に入ると30畳程の日本間で、一段高い舞台には真赤なもうせんが敷かれ、一番奥に十七弦が2器、そしてお琴が10器と並んでセットされています。和菓子とお茶の接待があり、たいへんごやかな雰

『董の花』『春の光』『西方の海』など、日本の自然がもつ四季にちなんだ曲が演奏され、それらの幻想的な音を聴いているうちに、ふと自然との関わりからはなれて、一面では成長しているはずなのに、実は一番大切なものを失っていると思いました。

音楽だけではなく、どんな美術や文化も、自然とのとけあいから生まれてきました。自然との対話を忘れたところから近代がおこっているとしたら、なんと恐ろしいことでは。自然の気が変化する瞬

てゆかうよ 流れてゆかうよ。ふけゆく秋の夜の こほろぎとならば 草の葉かげに 君が住む窓近く 夜すがら鳴かうよ 夜すがら鳴かうよ」と唄い、唄には説明など不用かも知れませんが、君想う乙女の情を本心を思いました。静かな情緒があり、詩が含有され、焦がれるような思いが秘められているからです。曲を作る立場から、作曲で一番大切なのは情感だと思っています。焦がれる思いだと信じています。思いのない作品、情感のうすい曲ほど無味乾燥なものはありません。ジャズの場合でも、表面的で外に向かっていたがらに連打したところで人の心を打つものでもなく、又音符だけで唄が唄えるものではなく、願、受、憂、祈りがあっても、聴いている人とききふせるのではなく、思、考、詩的な董りが感じられなくてはなりません。

箏曲部のご指導は松下通信社の社員ながら正派生田流の師範でもあるたいへん美しくやさしい佐藤雅恵さん。そして社が誇る Cout Seino Orchestra との共演で3年前からおつきあいができ、これからも共に勉強したいと思っています。箏曲部の皆さん、頑張ってください、よろしく。



つれづれ 徒然音楽草

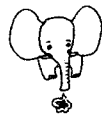
その34

山木幸三郎

囲気のなかで演奏会が始まりました。僕の場合はいつも密閉されたスタジオ、劇場、公会堂、体育館、野外ステージなど……。今日のような会場は初めてで、右側のいちめんの障子が影を映すスクリーンとなり、和紙一枚に隔てられた外の世界の小さな変化をやりわりと温かく映し出されたように想い、現代空間では忘れられてしまった懐かしさを、お琴の音色によってなおいっそう鮮やかに感じられ、日本人ならではの陰影に富んだ世界に入ってしまった。曲目は、

間、春に入ろうとするそのほんの少し前の春、草の香りや鳥の声、木の葉のざわめきで季節をしる、しかし今は、地下鉄や車の中でガラスに囲まれたまま通り過ぎてしまふ、文明は自然をささげり、人間の心を麻痺させ人々の触れあいまで見えなくしている、そして、とんでもない違った社会ができあがっているのでは。

『秋の調』では、落場の散っていく秋の趣きと同時に「秋の日のため息に 落葉とならば 川に浮かびて 君が住む宿ちかく 流れ



大阪の朝日放送番組企画部の依頼で、高校野球のスポーツニュースの音楽の仕事をしました。スポーツの歌といえば、国体の「若い力」やオリンピックの入場行進曲やファンファーレなどいろいろありますが、夏の高校野球は音楽と結びついているスポーツは他にはありません。

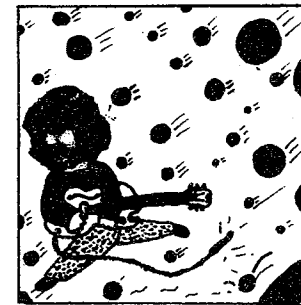
力強い開会式。夏の甲子園の幕開けはカラーとトーンの大祭典でなんとともさわやかな気分です。入場行進のプラカードと旗持ちは甲子園の地元、市立西宮高校の生徒で校内の試験に合格したものが

ニール袋に詰めただけの代物で、水のうがわりに頭に乘せたり、ヒタイに当てたり、溶けた水は冷たい飲み物。災天下の観戦が生んだ関西らしいアイデア商品で三塁側スタンドの下一番奥で仕入れた水を機械で砕いて、中年のご婦人たちが盛んに袋に詰めています。お話しを伺うと、最近レジャークーラーを持ち込む人が多く、缶入りの飲物におされて「もうかりまへんなあー」とのこと。収容人員6万人の大球場。その中でお客さんの胃袋のために働いている人が約500人。

つれづれ 徒然音楽草

その33

山木幸三郎



の晴れの役を。もう今年で30余年になるそうです。先生に選考試験をお聞きしたところ、体育館でホウキを持って歩かせ、リズム感・姿勢・歩き方・視線の行方を見るそうです。総合的には、高校生らしさ・キョラカサ」だそうで、何百人の応募者から65人が合格、抽選でこのチームのプラカードを持つか決めるそうです。親子2代のプラカード持ちも登場したし、この役が縁で選手と結婚した人もいます。

甲子園名物に「カチ(勝ち)ワリー」があります。水を割ってピ

見たい所が一つあります。場内はもちろんテレビを通して全国が目にするスコアボード。「縦が10メートル、横が40メートルですよ」と責任者の房安清澄さん(60才)。スコアボード裏の作業場は狭い。そこに午前6時30分に出動して試合が終わるまで詰めっきり。だから冷蔵庫も、タバコの買い置き、即席メンもある。炎暑の中の「山小屋」ぐらし。室温は30度を超えるというのに扇風機一つ。それも校名を書いたあとで乾かすためです。試合中は場内放送に耳を傾け、得点が変わったり、選手の交代が

あると、すぐに走って行って板を変える。氏名板の大きさは縦が1メートル、横が68センチ。プロ野球セ・パの6球団あわせて200人足らずのところ、この大会の参加者は49校735人。だから、同じ名前の選手ならプロ野球選手のものも転用。プロ野球用は重さ7キロもあるそうです。ひとつ試合が終わる場内に校歌が鳴り響いているころは大忙がし。選手がグラウンドを引き揚げ次のチームが入ってくるまでの短い時間に、手際よく次の試合の氏名板を並べていくのです。

人工芝が増えるなかで「私のいる限りグラウンドは変わりません」と甲子園のグラウンド責任者、藤本治一郎さん(58才)。このキーパーは12人、朝6時30分から終了の2時間後まで。試合の合間の整備は「6、7分の間に済ませねば始まったらテレビでどこか悪い所はないかと見えています。イレギュラーバウンドがあると、悪いけどアウトになってくれと思いますね」だそうです。「春は6対4の割合、夏は4対6〜5対5の割合が基本とは土の混ぜ具合のことで、白砂は近くの浜辺、黒土は鹿児島島の桜島の火山灰土、この大会には合わせて10立方メートル、10トントラック満載で一台分。試合が終わるとこの土がご存知の甲子園の記念品になるのです。

「ツタのからまる外壁にはへびも住んでいる」そうです。甲子園球場の長い歴史を物語るような話です。奮闘の裏方のみなさん、ごろうさま。

あなたはもうお読みになりましたか?

吹奏楽と11人の先生

—金賞受賞校の素顔—

全国学校図書館協議会
第797回選定図書

- エイト社刊 シリーズ〔教育の現場から〕2
- B6判 256ページ
- 定価 1000円
- 見出しをいくつかピックアップしてみると……
- 「ひどすぎるバンドを日本1にしよう……」
- 「厳しいだけでは息づまる」
- 「ムリ・ムラ・ムダのない練習」
- 「チームづくりはリーダーづくり」

バンド楽譜

新刊案内

吹奏楽★ヒット&ヒットシリーズ

- 11月15日発売 SH-72 SWEET MEMORIES
- SH-73 Good-Bye 青春
- SH-74 瞳はダイヤモンド
- 12月1日発売 SH-75 ロイヤルストレートフラッシュ
- SH-76 艶姿ナミダ娘
- SH-77 泣いちゃっマイ・ハート



ジャズバンド★ヒット&ヒットシリーズ

- 11月15日発売 JH-33 Disco Winter
- JH-34 SWEET MEMORIES
- 12月1日発売 JH-35 ラブ・イズ・オーヴァー
- 小学校★ドレミファ器楽
- 11月15日発売 KG-29 聖夜・ジングルベル
- 12月1日発売 KG-30 新春メドレー



アマチュアビッグバンドに期待するもの

吹奏楽人も参考にしてネ!

by KOZABURO YAMAKI

今ジャズ界では、50年代・60年代の良いもの、その頃活躍していたC・パーカ、M・デビス、H・シルバー、T・モンク、S・ロリンズなどが世界的に再確認されています。それらは若い世代の人達にもただノスタルジーだけでなく、新しい感覚として捉えられ、これを材料にして演奏しようという気運が高まっています。このことは、ジャズの本質の再確認だと思います。つまり「4ビート」ということになりすけど、レコードをみても、コンサートも曲目にそういうものを捉えて演奏しているのが世界中の傾向として表れています。アマチュアの一番有利なことは、自分達で好きな事がそのまま音楽にできることです。プロの場合ですと、食わんが為にはカワイ子ちゃんの伴奏をやったり、好きでもない曲を奏したりしなくてはなりません。そして大半がその事に費されそれ以外の時間で勉強しなくてはならないのです。アマチュアの場合は自分達で、この一年はこういう事をやろうと、はっきり目標を決めてとりかかると思っています。又それに向かって練習方法を決めて練習する事も大事だと思います。練習といっても色々な方法があると思いますが、今言った50年代・

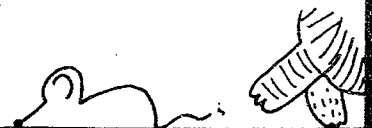
60年代のいわゆる「ビ・バップ」を基本にすることをおすすめします。今の若い人達にこの50年代・60年代の音楽がノスタルジーではなく、今風な感覚で映っているということがどういう事なのか、皆さんも一緒に考えてみる必要があると思います。練習の半分にこの事を捉え、皆さんで検討し合うのも効果的だと思います。この時代の曲は良い曲が多く、特に、コード進行がしっかりしており、メロディーの追い方に今までに無いものが発見されると思います。例えば、T・モンクのどの曲を取り上げてみてもそうですし、H・シルバー、S・ロリンズもまたしかりです。あの時代の事をもう一度皆さんと一緒に考えてみたいと思います。次にアマチュアの演奏を聴いて感じるのは、皆さん、まず吹いていても、オンとオフを感じないことが多いのです。だからどんな良いメロディがあってもオンとオフを同様に吹いてしまっているのです。例えて言うと好きな女性とは二人きりで分かる言葉があり、また言葉以上に通じ合う心があるように、音楽にも通じ合う物がなければいけません。フレーズを吹く時は、それが言葉だと思って演奏し、前で聴いているお客様に何を

言っているのか分からさせねばなりません。分からないようでは音楽ではないのです。上手とか下手とかはまた別です。とにかく前にいるお客様にどういう風に、何を言いたいのか、どんな方法で伝えるかということを考えて、演奏する方法も変わってくるし、練習する方法も自分なりに見つけていけると思っています。何度か外国に行つて思うことは、アメリカのアマチュア(プロもそうですけど)は、前にマイルスがいようと何しようとか、吹けと言われれば平気で吹きます。「お前恥ずかしくないのか」といっても、「恥ずかしくないですよ。私はマイルスよりも若いのですから」と言います。これが若者の一つの主張なんですね。日本人はそういうときも良くいえば謙虚で遠慮がちといえるかもしれませんが、ステージに上ったらある程度の図々しさも必要だと思います。特に黒人などはこの曲のこの部分の所はオレのソロだとなったら絶対に人に渡さないし、誰の為に吹いているのかと言えば女性の為に吹いているし、又、絶対にその女性のハートをつかむという意気込みで吹いているんですね。でもそれが一番大切な事だと思います。そういうことを考えていけば

オンとオフも出てくるし、その曲の曲想というものをつかんでその音楽に浸り、そのリズムに浸れば、ひとつのフレーズというものが出てくるんですね。だから、そういう風にして、これからの練習もそうだし、演奏もそうだし、とにかく何が伝わったかを心がけて、これからの音楽の作り方を考えてほしいと思います。ステージとお客様との間に見えない膜があるみたいな、通じないものがあることが一番の欠点だと思います。次によく質問される中で「ステージであがらないようにするにはどうしたらよいか」ということについてですが、答は一つしかありません。「あがらないように練習する」それだけです。それから、あがると同時にバテますね。これには関連があつて、あがると毎日練習してきたブレスの取り方がメチャメチャになって変なところでブレスするからバテるのです。フレーズも流れなくなって、いつもの調子が出ず、こんなはずじゃなかったと首をひねって又あがる。だから間違わないようになるまでよく練習して、自信をつけることが一番大切だと思います。それにミストーンの事ですが、特にラッパはよくミストーンしやすい楽器

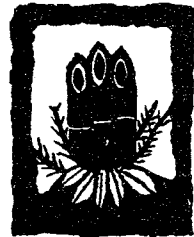
です。最初にアメリカに行った時、高校生のオーケストラの練習風景で、そこにガレスピーなどプロのラッパが5人参加して初見の楽譜をやった訳です。初めのラッパのリフの所でやはりプロでもミスをする訳です。むずかしいフレーズは最初は吹けないのは同様です。演奏中にミスしたらどうするか。答えは間違っても止まっちゃいけない。とにかく流れる事です。曲の中のミストーンは一瞬だから許してあげる。それより大事なことは曲全体の流れです。曲を理解して吹いていけばミスは許されるものなのです。あがってしまうとミスも多くなりバテる訳。小さなミスはあまり気にせず、本当に曲全体をとらえて演奏する事が大切だと思います。それから練習を見ていると、アドリブの部分は飛ばして次のソリとかの練習に進んでいますけど、アンサンブルとソロのつながりが曲全体として大切なのであって、又ソロの部分でバックグラウンドの色付けをどうやるかなど、ソロの部分も大変大切なことです。ソロの人は練習以外で自分で勉強しなければいけないし、そうする事が理想かもしれないけど、なかなかそうできる訳じゃないから、練習の時にソロを抜かさ

ないでやるべきです。ビッグバンドでは、アンサンブルはもちろん大切ですが、アドリブこそジャズの本質がある訳ですから、バンドとしてもっとアドリブソロを大切にしてほしいし、アドリブをとる人にまかせるという事ではなく、皆さんで考えて欲しいと思います。「あがる」という事やバンドの欠点、「アドリブ」など、よく考えて曲全体の流れをつかんで下さい。それには譜面に書いてあることだけでなく、それ以外の部分にも傾注して練習する必要があります。曲想の中で自分はどうか吹いたら良いか、書いていない部分を理解してジャズを作り上げていく事が大切です。最初に言った50年代、60年代に広がった「ビ・バップ」を基本とした音楽をもう一度振り返ってみて、ジャズの本質を見出してみれば、一年二年の研究課題はすぐ発見でき、それに向かって練習していけば、今まで3時間かかった事が1時間で出来るようになるし、ガラッと変わったような素晴らしいバンドになると思います。



新年のごあいさつ!

あけましておめでとうございます。昨年中はいろいろとお世話になり、本当にありがとうございました。ミュージックエイトならびにエイト社社員一同、心より感謝いたしております。今年1984年、皆さまに少しでもお役にたてるよう、努力いたします。皆さまも、ご意見、ご批判などドンドンお寄せください。どうぞよろしくご挨拶申し上げます。



株式会社 **ミュージックエイト**

(株) **エイト社**

バンド通信が変わります! 生まれ変わって5月に登場 よろしくお願ひします!!

永年、皆様にご愛読いただきましたバンド通信ですが、より充実した内容で皆様のお役にたてるよう、形を変えてお届けすることになりました。この為、月刊バンド通信は今回でひとまず終了、5月から季刊・大增ページでお送りいたします。新しい企画、こんなことが知りたい! などアイデアがございましたら、是非お教えください。皆さまのご意見お待ちいたしております。今後ともバンド通信を応援してください。

バンド楽譜

新刊案内

吹奏楽★ヒット&ヒットシリーズ

- 12月15日発売 SH-78 エル・オー・ヴィ・愛・N・G (田原俊彦)
- 1月1日発売 SH-79 北ウイング (中森明美)
- SH-80 ラブ・イズ・オーバー (歌橋純一)
- SH-81 マリアヌ (ジャッキーチェン)

吹奏楽★ニュー・コンサートシリーズ

- 12月15日発売 SC-10 吹奏楽の為のファンファーレ集 (4曲入り)

吹奏楽★マーチングバンドピース

- 12月15日発売 MC-100 スノー・ファンタジー (雪-雪のおどり-雪の降る町を-スキー)

ジャズバンド★ヒット&ヒットシリーズ

- 12月15日発売 JH-36 兄弟船 (鳥羽一郎)
- JH-37 夢芝居 (梅沢富美男)
- JH-38 シバの女王 (レーモン・ルフェール)
- 新しいアレンジでお楽しみ下さい。DP-16「シバの女王」の方は絶版です。
- 1月1日発売 JH-39 北ウイング (中森明美)
- JH-40 白い恋人たち (フランシス・レイ)
- 新しいアレンジでお楽しみ下さい。DP-37「白い恋人たち」の方は絶版です。